VMware.2V0-13.25.v2026-11-17.q120

試験コード：	2V0-13.25
試験名称：	VMware Cloud Foundation 9.0 Architect
認証ベンダー：	VMware
無料問題の数：	120
バージョン：	v2026-11-17
ページの閲覧量：	105
問題集の閲覧量：	1220

https://www.jpnshiken.com/shiken/VMware.2V0-13.25.v2026-11-17.q120.html

質問: **1**
顧客は「いかなる状況下でも、管理ワークロードはテナントワークロードネットワークからアクセスできないようにしなければならない」と要求しています。この要求を最も直接的に満たす設計上の決定はどれでしょうか？
A. 管理トラフィックとワークロードトラフィックの両方に単一のフラットネットワークを使用します。
B. 専用のNSXセグメントとTier-0/Tier-1ゲートウェイを実装し、管理ネットワークとワークロードネットワーク間のトラフィックを明示的に拒否する分散ファイアウォールルールを設定します。
C. ファイアウォールルールを使用せず、VLAN分離のみに依存します。
D. 管理ワークロードとテナントワークロードを、異なるIP範囲を持つ同じVLAN上に配置します。
正解: **B** (コメントを発表する)
管理トラフィックとテナントトラフィック間の真のネットワーク分離を実現するには、論理的なネットワークセグメンテーション（NSXセグメント/ゲートウェイ）と明示的なファイアウォールポリシーの適用（分散ファイアウォール）の両方が必要であり、トラフィックが両者の間を通過できないことを保証することで、VLANやIP分離のみの場合よりも「いかなる状況下でも」という要件をより確実に満たします。

質問: **2**
VMware環境におけるネットワーク遅延の問題をトラブルシューティングするには、どのような対策を講じればよいでしょうか？
A. ネットワークトラフィックパターンを監視する
B. 正しいMTUサイズであることを確認してください。
C. ネットワークアダプタドライバのバージョンを確認してください
D. ネットワーク設定をリセット
正解: **A,B,C** (コメントを発表する)
ネットワーク遅延を解消するには、ドライバのアップデート、適切なMTUサイズの設定、およびトラフィックの監視が不可欠です。

質問: **3**
データ保護と冗長性によってVMwareのセキュリティを向上させるBroadcom製品はどれですか？
A. vSphere HA
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. Broadcom NVMe SSD
D. vSAN
正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラー、NVMe SSD、およびvSANは、VMware環境におけるデータ保護と冗長性を確保します。

質問: **4**
VMware vSphereでテンプレートを使用するメリットは次のうちどれですか？（該当するものをすべて選択してください。）
A. 一貫性のあるVM展開
B. より迅速なプロビジョニング
C. 自動リソース割り当て
D. VMパフォーマンスの向上
正解: **A,B (**コメントを発表する**)**
テンプレートを使用することで、一貫性が確保され、VMのプロビジョニングが迅速化されます。

質問: **5**
既存の環境：
* vSphereクラスタ3つ、各クラスタにホスト5台。
* ネットワーク = vDS。
* ストレージ = NFSv3。
* 単一の vCenter によって管理されます。アーキテクトは、単一の VCF インスタンスを持つ新しい VCF フリートを作成することを決定します。
どのような設計上の影響を文書化すべきでしょうか？
A. NSXはVCFフリートの作成時に自動的にデプロイされます。
B. フリートを作成する前に、vCenter VM をスタンドアロン ホストに移行する必要があります。
C. クラスターは、フリートの作成前にvSANストレージを使用するように自動的に構成されます。
D. フリートの作成中に、ESX ホストは vSphere Lifecycle Manager ベースラインを使用するように変換されます。
正解: **(**正解を表示します**)**

VCFの起動中、SDDC Managerはクリーンなv Center環境の制御を必要とします。既存の環境では既にvCenterがクラスタを管理しているため、VCF起動時にvCenterインスタンスを適切にデプロイできるように、vCenter VMをスタンドアロンホストに移行する必要があります。
* A: NSXの展開は、WLDの作成中に行われ、フリートの立ち上げ時には行われません。
* C: vSANは自動構成されません。明示的な設計が必要です。
* D: VCFは、展開後にベースラインではなくvLCMイメージを使用します。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 9.0 プランニングおよびデプロイメントガイド。

質問: **6**
どのBroadcom製ストレージソリューションが、VMware Cloud Foundation環境におけるデータアクセス性能を向上させますか？
A. Broadcom RAIDコントローラー
B. ブロードコム製NVMe SSD
C. Broadcom ファイバーチャネル HBA
D. ブロードコム製イーサネットアダプタ
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcom製のNVMe SSDとRAIDコントローラは、VMware Cloud Foundation環境におけるデータアクセス性能を向上させます。

質問: **7**
VMware Cloud Foundation (VCF) のどのストレージモデルを導入すれば、コンピューティングやネットワークとは独立してストレージ容量を拡張できますか？
A. vSANコンピュートクラスタストレージモデル
B. vSAN ESAストレージモデル
C. vSAN ESAストレージクラスタモデル
D. vSAN容量クラスタモデル
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **8**
以下は、ネットワークに関連して行われた設計上の決定事項の一覧です。
NSX分散ファイアウォール（DFW）ルールは、デフォルトで全てのトラフィックをブロックします。
データセンター間で拡張性を確保するために、オーバーレイネットワーク技術を導入する。
すべての分散仮想スイッチ（DVS）で、Cisco Discovery Protocol（CDP）のリスニングモードを設定します。
トップオブラックのESXiホストスイッチとして、64ポートのCisco Nexus 9300を2台使用する。
建築家は論理設計の中で、どの設計上の決定事項を文書化するだろうか？

A. トップオブラックESXiホストスイッチとして、64ポートCisco Nexus 9300を2台使用します。
B. NSX 分散ファイアウォール (DFW) ルールは、デフォルトですべてのトラフィックをブロックします。
C. オーバーレイネットワーク技術を導入し、データセンター間での拡張性を確保する。
D. すべての分散仮想スイッチ (DVS) で Cisco Discovery Protocol (CDP) - リッスンモードを設定します。
正解: **C (**コメントを発表する**)**
VCF 5.2では、論理設計は、物理的または運用上の詳細ではなく、システムの構造と動作を定義する高レベルのアーキテクチャ上の決定に重点を置いています。VCF 5.2アーキテクチャガイドによると、論理設計におけるネットワークに関する決定は、拡張性、セキュリティポリシー、および接続フレームワークを重視しています。
それぞれ評価してみましょう。
オプションA :トップオブラックESXiホストスイッチとして2台の64ポートCisco Nexus 9300を使用する。これは物理ハードウェアを指定するもので、通常は物理設計（部品表、ラックレイアウトなど）に記載される詳細です。VCF 5.2設計ガイドでは、ハードウェアの選択は、アーキテクチャ（スパインリーフなど）を規定する場合を除き、論理的なものではなく物理的なものとして区別されていますが、ここではそのような規定はありません。
オプションB :NSX分散ファイアウォール（DFW）ルールですべてのトラフィックをデフォルトでブロックする。これはNSX内のセキュリティポリシー構成であり、トラフィックの制御方法を定義します。重要ではありますが、これは運用面または詳細設計（ルールセットなど）に関する決定事項であり、高レベルの論理設計要素ではありません。VCF 5.2ネットワークガイドでは、DFWルールは実装の詳細部分に記載されており、論理的な概要には記載されていません。
オプション C: データセンター全体に拡張するためのオーバーレイ ネットワーク技術の実装 オーバーレイ ネットワーク (NSX VXLAN や Geneve など) は、VCF における基本的なアーキテクチャ上の決定事項であり、拡張性、マルチサイト接続、およびネットワークの論理的分離を可能にします。VCF 5.2 アーキテクチャ ガイドでは、オーバーレイをコアとなる論理設計コンポーネントとして強調しており、データセンター全体にわたるソリューションの拡張方法に直接影響を与えるため、論理設計の有力な候補となっています。
オプション D: すべての分散仮想スイッチ (DVS) で Cisco Discovery Protocol (CDP) - リッスンモードを設定する。CDP をリッスンモードに設定すると、DVS 上でのネットワーク検出とトラブルシューティングが容易になります。これは構成設定であり、論理的な設計上の決定ではありません。VCF 5.2 ネットワークガイドでは、このようなプロトコル設定はアーキテクチャ上の選択肢ではなく、運用上の詳細として扱われます。
結論：
オプションCは、VCF 5.2のマルチデータセンター機能にとって不可欠な、拡張性の高いネットワークアーキテクチャを定義するため、論理設計に含めるべきである。

参考資料 :VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャガイド (docs.vmware.com) : 論理設計とオーバーレイネットワーク。
VMware Cloud Foundation 5.2 ネットワークガイド (docs.vmware.com): NSX および DVS の構成。
VMware Cloud Foundation 5.2 設計ガイド (docs.vmware.com): 論理設計と物理設計。

質問: **9**
Broadcom製ネットワークアダプタをVMware環境向けに最適化するにはどうすればよいですか？
A. 受信側スケーリング (RSS) を有効にする
B. フロー制御を有効にする
C. ジャンボフレームを使用する
D. アダプターの省電力モードを無効にする
正解: **(正解を表示します)**
フロー制御、RSS、ジャンボフレーム、および省電力モードの無効化は、ネットワークパフォーマンスを大幅に向上させることができます。

質問: **10**
以下のうち、vSphereスナップショットを説明しているのはどれですか？（該当するものをすべて選択してください。）
A. VMのパフォーマンスを向上させる
B. 長期バックアップに使用されます
C. 以前の状態へのロールバックを許可する
D. 特定の時点におけるVMの状態をキャプチャする
正解: **(正解を表示します)**
スナップショットは仮想マシンの状態をキャプチャし、ロールバックを可能にしますが、バックアップ用ではありません。

質問: **11**
マルチホスト環境におけるVMwareの可用性を確保する上で、Broadcomのどの製品が重要ですか？
A. vSAN
B. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
C. vSphere HA
D. Broadcom RAIDコントローラー
正解: **(正解を表示します)**
vSphere HA、Broadcom RAIDコントローラ、およびvSANは、マルチホスト環境におけるVMwareの可用性を確保するための重要な要素です。

質問: **12**

アーキテクトは、VMware Cloud Foundation（VCF）ベースの新しいプライベートクラウドソリューションの設計を担当します。主要な顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
* ソリューションは、全サイトにおいて5万のワークロードを同時に実行できるものでなければなりません。
* ソリューションは、最大10個のワークロードの同時展開をサポートする必要があります。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. 回復可能性
B. 管理性
C. パフォーマンス
D. 入手可能性
正解: **C** (コメントを発表する)

質問: **13**
Broadcom製イーサネットアダプタを使用してVMwareのパフォーマンスを最適化するには、どのような対策が考えられますか？
A. マルチコアネットワーク処理にはRSSを使用する
B. より大きなパケットサイズのためにジャンボフレームを有効にする
C. ネットワークトラフィックのフロー制御を有効にする
D. ネットワークオフロード機能を無効にする
正解: (正解を表示します)
Broadcom製イーサネットアダプタは、フロー制御、RSS、ジャンボフレームによりネットワークパフォーマンスを最適化します。

質問: **14**
アーキテクトがVCFフリートのIDおよびアクセス管理アプローチを設計しています。顧客は、既存のActive Directoryを使用して、すべてのVCFインスタンスにわたる集中認証を求めています。アーキテクトはどの設計上の決定事項を文書化すべきでしょうか？
A. 各vCenter Server上でローカルSSOアカウントを個別に設定します。
B. VCF OperationsとSDDC ManagerをLDAPS経由でActive Directoryと統合し、集中型IDフェデレーションを実現します。
C. セキュリティのため、IDソースの統合を無効にしてローカルアカウントのみを使用します。
D. 各ワークロードドメインが個別のIDソースを維持することを要求します。
正解: (正解を表示します)
フリート全体にわたる集中認証は、関連する管理コンポーネントを既存のActive Directory IDソースとセキュアプロトコル（LDAPS）を使用して統合することで最適に実現でき、コンポーネントごとまたはドメインごとにローカルアカウントを管理する際の管理上の負担や一貫性の欠如を回避できます。

質問: **15**
ある建築家が、以下の要件を満たす新しいVCFソリューションを設計しています。
このソリューションは、2つの可用性ゾーンにまたがって展開する必要があります。
物理ホストは、可用性ゾーンごとに1つのラックに設置する必要があります。
クラスター内で実行されるワークロードは、どちらのアベイラビリティゾーンのホスト上でも実行できる必要があります。
設計者は、これらの要件を満たすために、単一インスタンス - 複数アベイラビリティゾーンのVCFトポロジを使用してソリューションをデプロイすることを決定しました。
ネットワークの設計を検討する際、これらの要件を満たすために、設計者は論理設計に何を含めるべきでしょうか？
A. 各アベイラビリティゾーン内にデュアルCiscoスイッチを備えたリーフスパイン構成の物理ネットワークファブリック。
B. 可用性ゾーン全体の障害をサポートする高可用性ゲートウェイ。
C. 各トップオブラック（ToR）スイッチに、ESXiホストのアップリンクに接続された25GbEポート。
D. すべてのクラスタに対して単一のNSXオーバーレイトランスポートゾーンを使用して、ESXiホスト間でトラフィックを転送します。
正解: **D (**コメントを発表する**)**
VCF 5.2 の設計では、単一インスタンス - 複数アベイラビリティゾーン（AZ）トポロジー（例えば、ストレッチドクラスタ）を採用しており、2 つの AZ にわたる集中管理、AZ ごとに 1 つのラックに配置されたホスト、および AZ 間でのワークロードのモビリティが必要となります。論理設計は、物理的な詳細ではなく、高レベルのネットワークアーキテクチャに重点を置いています。
評価してみましょう：
オプションA：各アベイラビリティゾーン内にデュアルCiscoスイッチを備えたリーフスパイン構成の物理ネットワークファブリック。リーフスパインファブリックは、ラックベースの展開に合わせて物理ネットワークのスケーラビリティと冗長性を向上させます。ただし、VCF 5.2設計ガイドによると、これは論理的なネットワーク決定ではなく、物理的な設計の詳細（スイッチトポロジー）です。
オプション B: アベイラビリティ ゾーン全体の障害をサポートする高可用性ゲートウェイ
AZ フェイルオーバーを備えたゲートウェイ (NSX Edge Tier-0 など) は、南北方向のトラフィックの回復力をサポートします。これは有用ですが、コア要件である AZ をまたいだワークロードの移動 (東西方向のトラフィック) を直接可能にするものではありません。VCF 5.2 ネットワーク ガイドでは、ゲートウェイはストレッチ クラスタの基盤ではなく、補助的なものとして扱われています。
オプション C: 各トップ オブ ラック (ToR) スイッチに 25 GbE ポートを搭載し、ESXi ホストのアップリンクに接続する。25 GbE ポートの指定は、論理設計要素ではなく、物理的

なネットワークの詳細 (帯域幅、ケーブル配線) です。VCF 5.2 設計ガイドでは、ポート速度は論理アーキテクチャではなく、物理的な実装に限定されています。
オプション D: すべてのクラスタで単一の NSX オーバーレイ トランスポート ゾーンを使用して ESXi ホスト間のトラフィックを転送します。拡張クラスタ トポロジでは、単一の NSX オーバーレイ トランスポート ゾーンにより、オーバーレイ ネットワーク (例: Geneve) を介して AZ 間で VM のモビリティが可能になります。NSX によって管理される統一された L2/L3 接続レイヤーを提供することで、ワークロードがどちらの AZ のホストでも実行できることが保証されます。VCF 5.2 アーキテクチャ ガイドでは、vMotion とワークロード分散をサポートするために、拡張デプロイメントに単一のオーバーレイ TZ を必須としており、この要件を直接満たしています。
結論：
オプションDは論理的な設計上の決定であり、NSXオーバーレイネットワークを介して、拡張VCFトポロジーにおけるアベイラビリティゾーン（AZ）間でのワークロードのモビリティを可能にします。
参考資料：VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャガイド（docs.vmware.com）マルチAZトポロジとNSXオーバーレイ。
VMware Cloud Foundation 5.2 ネットワークガイド (docs.vmware.com): ストレッチド クラスタのトランスポート ゾーン。
VMware Cloud Foundation 5.2 設計ガイド (docs.vmware.com): 論理設計と物理設計。

質問: **16**
Broadcom環境において、VMwareのパフォーマンス問題をどのように検出・解決できますか？
A. リソース最適化にはVMware DRSを使用してください
B. ディスクI/Oのボトルネックをチェックする
C. トラフィック量の多い仮想マシン向けにネットワークバッファサイズを増やす
D. ネットワークパフォーマンス向上のため、vSphere Distributed Switchを使用する
正解: **A,B,D** (コメントを発表する)
vSphere Distributed Switch、ディスクI/O監視、およびVMware DRSの最適化により、パフォーマンスの問題が解決されます。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu 「**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **17**

最初の関係者会議の一環として、関係者の1人が次のように述べました。
* ハードウェアを現在の予算サイクル内で発注できるよう、初期設計は今後3ヶ月以内に完了する必要があります。
建築家はこの記述をどのように分類し、記録するだろうか？
A. 制約
B. リスク
C. 仮定
D. 要件
正解: (正解を表示します)
これは制約条件です。顧客の予算編成スケジュールによって課される、交渉不可能な時間制限を定義するものです。設計フェーズのスケジュールと成果物に制約を与えます。VMwareの概念モデリングでは、時間制約は要件や前提条件ではなく、制約条件として明示的に扱われます。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 概念設計ガイド - プロジェクトのタイムラインと制約

質問: **18**
ある設計者が、新しいVMware Cloud Foundation （VCF）ソリューションの設計を文書化しており、次のような設計上の決定を下しました。
単一のVIワークロード内に2つのvSphereクラスタがデプロイされます。
ドメイン。
建築家はこの設計上の決定が示唆する内容として、どのような声明を含めるべきでしょうか？
A. 将来的にソリューションを拡張する必要が生じた場合は、追加のVIワークロードドメインをデプロイできます。
B. 単一の VI ワークロード ドメインに複数のクラスタをデプロイすることで、管理する必要のある vCenter Server インスタンスの数を削減できます。
C. 単一のVIワークロードドメイン内に複数のクラスタをデプロイすることで、本番ワークロードと開発ワークロードを分離するという要件を満たします。
D. 単一のVIワークロードドメイン内のすべてのクラスタは、vSANを主要なストレージタイプとして使用する必要があります。
正解: (正解を表示します)
VMware Cloud Foundationでは、各VIワークロードドメインは単一のvCenter Serverインスタンスによって支えられています。同じVIワークロードドメイン内に複数のクラスタをデプロイすることで、アーキテクトは新しいvCenterをプロビジョニングすることなく、複数のユースケース（本番環境と開発環境の分離など）をサポートできます。この設計により、管理オーバーヘッドと運用上の複雑さが軽減されます。ただし、より厳密な分離が必要な場合（マルチテナンシーやライフサイクル独立性など）は、ワークロードドメインを個別に

設定する方が適している場合があります。vSANはデフォルトですが、起動時にvSAN Ready Nodesを使用しない限り必須ではありません。

質問: **19**
建築家は、ビジネス関係者とのデザインワークショップを経て、デザイン案のリストを作成しました。論理的なデザイン決定を表しているのは、次のうちどれですか？
A. サイトAとBの間で、定められたリカバリポイント目標（RPO）を満たすために、同期データレプリケーションが使用されます。
B. ユーザーは2秒以内にアプリケーションが利用可能になることを体験する必要があります。
C. サイトAとサイトBはそれぞれ、ネットワーク用に/16サブネットを持ちます。
D. ユーザーは共有グローバルロードバランサーを介してアプリケーションサーバーに接続する必要があります。
正解: **(**正解を表示します**)**
論理的な設計上の決定は、概念的な要件が技術的な機能や構成によってどのように実現されるかを定義する。
Aは論理的な設計上の選択肢である。なぜなら、RPO要件を満たすためにレプリケーションがどのように構成されるか（同期）を規定しているからである。
Bは要件であり、設計上の決定事項ではない。
Cは物理的な設計上の選択肢であり、サブネット化（/16ネットワーク）を規定するものです。
Dはアプリケーションレベルの要件であり、VCFインフラストラクチャの論理的な決定事項ではありません。したがって、論理的な設計上の決定事項は、RPOを満たすために同期レプリケーションを使用することです。

質問: **20**
VMware Cloud Foundationにおいて、パフォーマンスの監視と最適化を支援するVMwareツールはどれですか？
A. VMware vRealize Operations
B. VMware NSX
C. VMware vSphere
D. VMware vSAN
正解: **A (**コメントを発表する**)**
VMware vRealize Operationsは、VMware Cloud Foundationにおけるパフォーマンス監視と最適化にとって不可欠です。

質問: **21**
新しいVMware Cloud Foundation（VCF）ソリューションに関するセキュリティ重視の設計ワークショップにおいて、主要な関係者が、自社組織におけるユーザー認証の現状と将来の可能性について説明した。

以下の情報は建築家によって収集されたものです。
組織内のすべてのユーザーは、現在Active Directoryを基盤としたユーザーアカウントを保有しています。
別途、すべてのユーザーアカウントに多要素認証（MFA）を適用するために、さまざまなサードパーティ製認証ソリューションの利用を評価するプロジェクトが計画されている。
MFAプロジェクトは、組織がどの本人認証ソリューションを導入すべきかについての推奨事項を提供するのみです。
MFAプロジェクトでは、推奨される本人確認ソリューションに必要なライセンスの取得費用について予算を要求する必要があります。
新しいVCF環境はMFAプロジェクトが完了する前に導入される可能性があるため、現在および将来提案されるあらゆるIDソリューションと統合できる必要がある。
建築家は設計図書にどの2つの項目を含めるべきでしょうか？（2つ選択してください。）
A. 新しいサードパーティ製IDソリューションがVCFと互換性があるという前提
B. MFAプロジェクトは、新たなサードパーティ製IDソリューションを導入するための予算を受け取らないという前提
C. VCFは新しいサードパーティのIDソリューションとのみ統合するという要件
D. 新しいサードパーティ製IDソリューションがActive Directoryと互換性がない可能性があるというリスク
E. 新しいサードパーティ製IDソリューションがVCFと互換性がない可能性があるというリスク
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 では、ソリューションの設計には、組織のニーズとの整合性を確保し、潜在的な問題を軽減するために、要件、前提条件、制約、およびリスクを文書化することが含まれます。このシナリオでは、セキュリティを重視した設計について説明します。VCF ソリューションは、現在の Active Directory (AD) 認証をサポートしつつ、MFA プロジェクトが完了する前に、将来のサードパーティ製 ID ソリューション (MFA 対応) にも柔軟に対応できる必要があります。設計者は、これらのニーズを反映し、不確実性に対処する項目を設計ドキュメントに含める必要があります。
それぞれの選択肢を評価してみましょう。
オプション A: 新しいサードパーティ ID ソリューションが VCF と互換性があるという仮定 これは最善の選択肢ではありません。仮定は (VMware の設計方法論に従って) 証明なしに真実とみなされる記述ですが、未知のサードパーティ ソリューションとの互換性を仮定することは楽観的すぎ、シナリオに内在する不確実性を無視しています。ステークホルダーは、MFA プロジェクトではソリューションを推奨するだけで、具体的なソリューションは特定されていないと指摘しています。VCF 5.2 は VMware Workspace ONE Access または vSphere SSO と AD/LDAP を介して ID プロバイダーをサポートしていますが、指定されていないサードパーティ ソリューションとの互換性は保証できません。これを仮定として文書化すると、軽減されていないリスクにつながる可能性があり、リスクを特定するよりも不適切です。

オプションB :MFAプロジェクトが新しいサードパーティ製IDソリューションを導入するための予算を受け取れないという仮定 これは誤りです。MFAプロジェクトが予算を確保できないという仮定は憶測に過ぎず、提供された情報によって裏付けられていません。シナリオでは、MFAプロジェクトが予算を要求する必要があると述べられており、これは予算が拒否されるという意味ではなく、計画の一部であることを示唆しています。この仮定を含めると、設計が現在のADのみのソリューションに不必要に偏り、将来の柔軟性という要件と矛盾します。これは、提示された事実に基づく正当な仮定ではありません。
オプション C: VCF が新しいサードパーティ ID ソリューションとのみ統合するという要件 これは表現が不適切なオプションであり、おそらく逆の意味を意図していたと思われますが、コンテキストと標準的な VCF 設計原則に基づいて、潜在的な誤解であると解釈します。正しい意図は、「VCF が現在の AD と新しいサードパーティ ID ソリューションの両方と統合するという要件」である可能性があります。シナリオでは、「新しい VCF 環境は、現在の ID ソリューションと将来提案されるすべての ID ソリューションの両方と統合できる必要がある」と明示的に述べています。これは要件であり、設計上の必須条件です。VCF 5.2 は vSphere SSO を介して AD 統合をネイティブにサポートしており、外部 ID プロバイダー (Workspace ONE Access など) と統合できるため、これは実現可能です。コンテキストを考慮すると、このオプションは二重統合要件を反映することを意図していたと想定し、説明の表現を修正して回答の 1 つとして含めます。
オプション D: 新しいサードパーティ製 ID ソリューションが Active Directory と互換性がない可能性があるというリスク これは VCF の設計に直接関係ありません。新しいサードパーティ製ソリューションと AD の互換性は、MFA プロジェクトまたはより広範な IT インフラストラクチャの懸念事項であり、VCF ソリューション自体の懸念事項ではありません。VCF は管理コンポーネント (SDDC Manager、vCenter など) を介して ID プロバイダーと統合され、AD との互換性は既に確立されています。サードパーティ製ソリューションと AD の非互換性のリスクは、ID プロバイダーが VCF とフェデレーションする機能に影響を与えない限り、VCF の設計に直接影響しません。フェデレーション機能は二次的な懸念事項です。したがって、これはアーキテクトのドキュメントの最優先事項ではありません。
オプション E: 新しいサードパーティ ID ソリューションが VCF と互換性がない可能性があるというリスク これは含めるべき有効かつ重要な項目です。リスクとは、ソリューションの成功に影響を与える可能性のある潜在的な問題を特定するものです。MFA プロジェクトではまだサードパーティ ID ソリューションが選択されておらず、VCF の展開が完了前に行われる可能性があるため、将来のソリューションが VCF 5.2 とシームレスに統合されるかどうかは不確実です。VCF は Workspace ONE Access または vSphere SSO を介して LDAP、SAML、OAuth などの標準をサポートしていますが、すべてのサードパーティ ソリューションがこれらのプロトコルまたは VCF の要件に準拠しているとは限りません。このリスクを文書化することで、計画段階 (たとえば、調達時の互換性の検証) で考慮されることが保証され、必須の項目となります。
修正された解釈と結論：
シナリオに基づき、建築家は以下の事項を文書化する必要がある。

VCFが現在のADベースのシステムと将来のサードパーティ製IDソリューションの両方と統合する必要があるという要件（オプションCは表現が不適切だが、文脈上は意図されていると解釈）。
新しいサードパーティ製IDソリューションがVCFと互換性がない可能性があるというリスク（オプションE）。
これらはVMwareの設計手法に沿ったものであり、ソリューションが明示されたニーズを満たすことを保証しつつ、潜在的な課題を指摘するものです。
選択肢Cには、「両方と統合する」という表現が適切であるという但し書きが付いていますが、質問には固定の選択肢が用意されているため、意図に基づいてこれを選びました。
参照資料：VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャおよび導入ガイド（セクション：IDおよびアクセス管理）、VMware Cloud Foundation 5.2 計画および準備ガイド（セクション：設計上の考慮事項およびリスク）、VMware Workspace ONE Access と VCF 5.2 の統合に関するドキュメント（ID プロバイダのサポート）

質問: **22**
VMware Cloud Foundationにおいて、ハイブリッド環境およびマルチクラウド環境の管理を支援するVMwareツールはどれですか？
A. VMware HCX
B. VMware vSphere
C. VMware NSX
D. VMware vRealize Operations
正解: **(正解を表示します)**
VMware HCXとvSphereは、VMware Cloud Foundationにおけるハイブリッドおよびマルチクラウド環境の管理において重要な役割を果たします。

質問: **23**
アーキテクトは、VMware Cloud Foundation（VCF）ベースの新しいプライベートクラウドソリューションの設計を担当します。主要な顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
* プライマリサイトで災害が発生した場合、すべてのティア1プロダクションサービスを1時間以内にセカンダリサイトに復旧させる必要があります。
* プライマリサイトで災害が発生した場合、すべてのティア3プロダクションサービスを8時間以内にセカンダリサイトに復旧する必要があります。
A. 回復可能性
B. 入手可能性
C. パフォーマンス
D. 管理性
正解: **(正解を表示します)**
これらは典型的なリカバリメトリクスです。リカバリ時間目標（RTO）とリカバリポイント目標（RPO）は、障害や災害発生後にどれだけ迅速に、どれだけのデータを復旧できるかに

直接関係します。アーキテクトは、VCFデプロイメントにストレッチドクラスタやバックアップなどのリカバリメカニズムが含まれていることを確認する必要があります。
これらの定義されたRTO/RPO目標を満たすレプリケーション技術。
参照 :VCF BCDR ベストプラクティス - 復旧計画セクション

質問: **24**
VMwareのストレージパフォーマンスを大規模に管理するために不可欠なBroadcom製品はどれですか？
A. VMware Storage DRS
B. Broadcom NVMe SSD
C. Broadcom RAIDコントローラー
D. vSAN
正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラーとNVMe SSDは、VMware環境において大規模なストレージパフォーマンスを管理するために不可欠です。

質問: **25**
アーキテクトは、VMware Cloud Foundation (VCF) ベースの新しいプライベートクラウドソリューションの設計を担当しています。主要な顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
* このソリューションは、最大10,000個のオブジェクトの監視をサポートする必要があります。
* ソリューションは、すべての監視データについて24か月間の保存をサポートする必要があります。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. パフォーマンス
B. 管理性
C. 入手可能性
D. 回復可能性
正解: **B (**コメントを発表する**)**
VMware Cloud Foundation 9.0.1 デザインガイドでは、管理性を、監視、構成、レポート作成、および運用管理機能に重点を置いた設計品質と定義しています。同ガイドには次のように記載されています。
管理性とは、ソリューションを効果的に監視、構成、制御し、運用上の洞察とビジネス目標への準拠を確保する能力を包含するものです。」10,000個の監視対象をサポートし、監視データを24か月間保持するという要件は、システムのパフォーマンスや可用性ではなく、運用指標を管理および保持するシステムの能力に直接関係します。これらのパラメータは、管理性の核心要素である長期的な可視性、コンプライアンス、およびデータ分析の一貫性を保証します。

対照的に：
* パフォーマンスはスループットとレイテンシに重点を置いています。
可用性により、稼働時間と耐障害性が確保されます。
* 復旧性とは、障害発生後の復旧に関するものです。
したがって、これらの要件は、システムが監視データをどのように管理および保持するかを直接的に定義するため、管理性という分類に該当します。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
* VMware Cloud Foundation 9.0.1 アーキテクチャ ガイド - 設計上の特性：可用性、管理性、パフォーマンス、復旧性、およびセキュリティ」（72〜74ページ）
* VMware Cloud Foundation 9.0.2 設計フレームワーク - 管理性における監視および保持要件の分類」

質問: **26**
関係者との初期設計ワークショップにおいて、建築家は現状の概要と、設計段階に進むために必要なその他の情報を提供された。
どの記述を要件として文書化すべきでしょうか？
A. 既存の共有ストレージアレイを使用する必要があります。
B. ブロックベースのストレージはワークロードドメイン内で使用する必要があります。
C. 既存のストレージアレイは、環境構築に十分な容量を提供します。
D. お客様のネットワークチームは、NSX VPC のサポートに関するトレーニングを受けていません。
正解: **B (**コメントを発表する**)**
* 要件とは、ソリューションが何を提供する必要があるかを定義するものです。
* B（WLDにおけるブロックベースストレージ）は、必須の設計要件を規定する技術要件です。
その他の選択肢：
* （既存のストレージを使用する必要がある）は制約です。
* C（十分なストレージ容量）は仮定です。
* D（ネットワークチームが訓練を受けていない）はリスクです。
したがって、有効な要件は、ワークロード領域においてブロックベースのストレージを使用することである。
参照：VMware Cloud Foundation 9.0 - 要件分類（RACRフレームワーク）。

質問: **27**
あるアーキテクトが、以下の要件を満たすシングルテナント向けのVMware Cloud Foundation（VCF）ソリューションをNSX VPCフルサービスモデルを使用して開発しています。
設定では、BGPループ検出チェックによってアドバタイズメントが破棄されないようにする必要があります。

このソリューションをサポートするネットワークアーキテクチャを設計する際、物理ネットワーク設計の一部として考慮すべき要素は何ですか？
A. デフォルトのBGPタイマーを調整します。
B. 各Tier-0ゲートウェイに固有のプライベートBGP AS番号を使用します。
C. Tier-0ゲートウェイと物理ネットワーク間のルーティングプロトコルとしてiBGPを使用します。
D. TEPトラフィックのみを転送するようにエッジデータパスインターフェイスを設定します。
正解: **B** (コメントを発表する)
BGPループ防止は、一意のAS番号に依存します。同じAS番号が再利用されると、ルートが破棄される可能性があります。NSX VPC設計では、Tier-0ゲートウェイごとに一意のプライベートAS番号を割り当てることで、ループ検出をトリガーすることなく、クリーンなルーティングが保証されます。
A :タイマー調整は収束に影響しますが、ループ検出には影響しません。
C: 物理ルーターを使用したiBGPは非標準であり、ループの問題を解決しません。
D: TEPトラフィックはBGPルーティングループとは無関係です。

質問: **28**
アーキテクトは、VMware Cloud Foundation (VCF) ベースの新しいプライベートクラウドソリューションの設計を担当します。主要な顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
ソリューションは、すべてのコンポーネントがN-1のソフトウェアバージョンを満たすことを保証しなければならない。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. 回復可能性
B. 管理性
C. セキュリティ
D. 入手可能性
正解: (正解を表示します)
ソフトウェアをN-1バージョンで維持するという要件は、システム内のすべてのコンポーネントが最新の安定したバージョンのソフトウェアを維持することを保証し、それに伴うリスクを回避します。
最先端のアップデート。これはセキュリティ設計上の重要な要素です。N-1準拠により、サポート対象外の旧バージョンに存在する可能性のある脆弱性への露出を軽減できるからです。さらに、VMware Cloud Foundationは、セキュリティおよびコンプライアンスフレームワークに準拠し、サポート対象の互換性マトリックス内でフルスタックを維持することを重視しています。

質問: **29**

VMware vSAN向けの高性能ストレージ環境を設計する際に、どのBroadcomソリューションを検討すべきでしょうか？
A. Broadcomファイバーチャネル HBA
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. Broadcom NVMe SSD
正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラー、25GbEイーサネットアダプター、およびNVMe SSDは、VMware vSAN環境における高性能ストレージに最適です。

質問: **30**
VMware Cloud Foundationにおいて、クラウドインフラストラクチャの一元管理をサポートするVMwareの機能はどれですか？
A. VMware vRealize Automation
B. VMware vSphere
C. VMware NSX
D. VMware vRealize Operations
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vRealize OperationsとvRealize Automationは、VMware Cloud Foundationにおける集中管理を可能にします。

質問: **31**
Broadcom製ハードウェアを使用したVMwareストレージのパフォーマンスに関するトラブルシューティングを行うためのベストプラクティスは何ですか？
A. ストレージI/Oメトリクスの監視
B. RAIDコントローラの設定をリセットします
C. ディスクの状態とRAIDステータスを確認します
D. RAIDコントローラーのファームウェアが最新であることを確認してください。
正解: **(**正解を表示します**)**
ディスクの状態、I/Oメトリクス、およびファームウェアのアップデートは、ストレージのパフォーマンス問題を解決するために不可欠です。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu ↥**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **32**
フォールトトレラントなVMware環境を構築するために、Broadcom製ハードウェアと組み合わせるVMwareの機能のうち、どれが不可欠ですか？
A. vSphere HA
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. vSAN
D. 25GbEイーサネットアダプター
正解: **(正解を表示します)**
vSphere HA、Broadcom RAIDコントローラ、およびvSANは、VMware環境における耐障害性にとって非常に重要です。

質問: **33**
vSphere 8.x では、ホストごとにサポートされる仮想マシンの最大数はいくつですか？
A. 1024
B. 2048
C. 256
D. 512
正解: **(正解を表示します)**
vSphere 8.x は、ホストあたり最大 1024 台の仮想マシンをサポートします。

質問: **34**
Broadcom製ハードウェアを使用してVMwareインフラストラクチャを設計する際、高可用性を確保するために最も重要な考慮事項は何ですか？
A. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
B. BroadcomファイバーチャネルHBA
C. vSAN
D. vSphere HA
正解: **(正解を表示します)**
vSphere HAは、Broadcom製ハードウェアを使用して設計されたVMwareインフラストラクチャにおいて、高可用性を確保するための重要な機能です。

質問: **35**
VMware環境における仮想アプライアンスの目的は何ですか？
A. 事前設定済みのアプリケーションをデプロイする
B. ネットワークトラフィックの管理
C. ハイパーバイザー機能を提供する
D. データストアの監視
正解: **(正解を表示します)**
仮想アプライアンスは、事前に構成済みのアプリケーション環境をデプロイするために使用されます。

質問: **36**
要件収集ワークショップにおいて、顧客から様々なビジネス要件および技術要件が収集された。
どの要件がビジネス要件に分類されますか？
A. アプリケーションは、Windows、macOS、およびLinuxオペレーティングシステムと互換性がある必要があります。
B. サービスリクエストの処理時間を30%短縮する。
C. システムは10,000人の同時ユーザーをサポートする必要があります。
D. データはAES-256暗号化を使用して暗号化する必要があります。
正解: **B** (コメントを発表する)
VCFにおけるビジネス要件は、ソリューションによって実現されるべき組織目標を明確に示しており、多くの場合、具体的な技術的実装よりも、効率性、コスト、またはサービスの改善に重点が置かれています。
オプションBの「サービスリクエストの処理時間を30%短縮する」は、顧客へのサービス提供に利益をもたらす運用効率目標を対象としており、システムがどのようにそれを達成するかを指示するのではなく、ビジネスの観点から測定可能なため、ビジネス要件であると言えます。
オプションA、C、Dは、OSの互換性、ユーザー容量、暗号化規格を指定するもので、vSphereやNSXなどのVCFコンポーネント内でアーキテクトが実装しなければならないシステム機能やセキュリティメカニズムを詳細に規定しているため、技術要件と言えます。違いは意図にあります。Bは結果（速度）に焦点を当てているのに対し、他のオプションはシステム特性を定義しています。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクト学習ガイド、第2章：要件の分類、ビジネス要件と技術要件に関するセクション。

質問: **37**
VMware Cloud Foundationのどのツールがインフラストラクチャの健全性管理に役立ちますか？
A. VMware vSphere
B. VMware vRealize Operations
C. VMware vRealize Automation
D. VMware vSAN
正解: **B** (コメントを発表する)
VMware vRealize Operationsは、VMware Cloud Foundationにおけるインフラストラクチャの健全性を管理するために不可欠です。

質問: **38**
高可用性VMware環境を設計する際に、どのBroadcom製コンポーネントを優先的に採用すべきでしょうか？

A. vSAN
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. vSphere HA
正解: **A,B,C,D** (コメントを発表する)
RAIDコントローラー、vSphere HA、Broadcom 25GbEイーサネットアダプター、およびvSANはすべて、高可用性のVMware環境の実現に貢献します。

質問: **39**
VMware環境を最小限の遅延で管理するために必要なBroadcom製コンポーネントはどれですか？
A. vSAN
B. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
C. Broadcom NVMe SSD
D. VMware DRS
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware環境におけるレイテンシを最小限に抑えるには、Broadcom製の25GbEイーサネットアダプタとNVMe SSDが必要です。

質問: **40**
あるアーキテクトは、他のすべての仮想インフラストラクチャから隔離された状態を維持する必要のある、高度なセキュリティを備えたインフラストラクチャプロジェクトに必要なVMware Cloud Foundation（VCF）ソリューションを設計するために、クライアントと協力しています。クライアントは既に6台の高密度vSAN対応ノードを導入しており、このプロジェクトの想定されるライフサイクルを通じて追加のノードを導入する予算はありません。
容量が適切に設定されていると仮定した場合、アーキテクトはどのVCFアーキテクチャモデルとトポロジを提案すべきでしょうか？
A. シングルインスタンス - マルチアベイラビリティゾーン標準アーキテクチャモデル
B. 単一インスタンス統合アーキテクチャモデル
C. シングルインスタンス - シングルアベイラビリティゾーン標準アーキテクチャモデル
D. マルチインスタンス - シングルアベイラビリティゾーン標準アーキテクチャモデル
正解: **C** (コメントを発表する)
VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 は、さまざまな要件に対応するため、統合型、標準型といった多様なアーキテクチャ モデルと、シングルインスタンス／マルチインスタンス、シングル／マルチアベイラビリティ ゾーンといったトポロジーを提供しています。クライアントのニーズ（高いセキュリティ、分離性、vSAN 対応ノード 6 台、追加予算なし）が、アーキテクトの選択を左右します。
それぞれの選択肢を評価してみましょう。

オプション A：単一インスタンス - 複数可用性ゾーン標準アーキテクチャ モデル このモデルでは、単一の VCF インスタンスを使用し、複数の可用性ゾーン (AZ) にわたって管理ドメインと VI ワークロード ドメインを分離して配置することで、耐障害性を確保します。各 AZ には最低 4 ノード (vSAN HA の最小要件) が必要となるため、2 つの AZ では 6 ノードでは不十分です (最低 8 ノード)。また、複雑さが増し、他のインフラストラクチャからの分離が本質的に強化されるわけではありません。ノード数の制約を考慮すると、このオプションは実用的ではありません。
オプションB：単一インスタンス統合アーキテクチャモデル
統合モデルでは、管理コンポーネントとワークロードコンポーネントを単一のクラスタ（最小4ノード、通常は最大8ノード）上で実行します。6ノード構成であれば、実現可能で容量効率も良好ですが、管理ワークロードとユーザーワークロードが同じインフラストラクチャを共有するため、分離性が損なわれます。 「高度なセキュリティ」と 「分離性」が求められるプロジェクトでは、ワークロードを混在させることで攻撃対象領域が拡大し、コンプライアンス上のリスクが高まるため、ノード数は十分であっても、この構成は適していません。
オプション C: シングルインスタンス - シングルアベイラビリティゾーン 標準アーキテクチャモデル これが正解です。標準モデルでは、単一の VCF インスタンスと AZ 内で、管理 (最低 4 ノード) と VI ワークロード ドメイン (最低 3 ノード、HA の場合は通常 4 ノード) を分離します。6 ノードの場合、アーキテクトは管理ドメインに 4 ノード、VI ワークロード ドメインに 2 ノードを割り当てることができます (または容量に応じて調整できます)。単一の AZ は予算の制約に適合し (追加のノードは不要)、VCF インスタンスを他のインフラストラクチャとは別にこのプロジェクトに専用することで分離が実現されます。高密度の vSAN ノードは両方のドメインをサポートし、管理とワークロードの論理的な分離によりセキュリティが強化され、セキュアなデプロイメントのための VCF 5.2 のベストプラクティスに準拠しています。
オプション D: マルチインスタンス - シングルアベイラビリティゾーン 標準アーキテクチャモデル 単一のアベイラビリティゾーンに複数の VCF インスタンス (例えば、管理用とワークロード用) を配置するには、vSAN 用にそれぞれ最低 4 つのノードを持つ別々のノード プールが必要です。6 つのノードでは 2 つのインスタンスをサポートできないため (最低 8 ノード)、予算とハードウェアの制約を考慮すると、このオプションは実現不可能です。
結論：
単一インスタンス -単一アベイラビリティゾーンの標準アーキテクチャモデル（オプションC）が最適です。このモデルは6つのノードを効率的に使用し（例えば、管理用に4つ、ワークロード用に2つ）、インスタンスをプロジェクト専用にすることで分離性を確保し、論理的な分離によってセキュリティ要件を満たし、しかも予算の制約内で実現します。
参照資料 :VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャおよびデプロイメントガイド（セクション :アーキテクチャモデルとトポロジ）、VMware Cloud Foundation 5.2 計画および準備ガイド（セクション :サイジングと分離に関する考慮事項）

質問: **41**
VMware Cloud FoundationでBroadcom製ハードウェアを使用するメリットは何ですか？
A. スケーラブルなクラウドインフラストラクチャ
B. 統合ハードウェア管理
C. 簡素化されたライフサイクル管理
D. 高性能ネットワーク
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcomのハードウェアは、VMware Cloud Foundationにおけるハードウェア管理、拡張性、パフォーマンス、およびライフサイクル管理を強化します。

質問: **42**
Broadcomのどのソリューションが VMwareのパフォーマンス最適化に貢献しているのでしょうか？
A. Broadcom NVMe SSD
B. vSphere DRS
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. Broadcom RAIDコントローラー
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcom製の25GbEイーサネットアダプタ、RAIDコントローラ、およびNVMe SSDは、VMware環境におけるパフォーマンス最適化に貢献します。

質問: **43**
Broadcomのストレージソリューションは、VMwareのパフォーマンスをどのように向上させることができるのでしょうか？
A. 低コストのストレージにはHDDを使用する
B. ストレージI/O制御の実装
C. 高性能ストレージアレイを使用する
D. ストレージ冗長性のためにマルチパスを有効にする
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcomソリューションは、高性能ストレージ、マルチパス、およびI/O制御により、VMwareストレージのパフォーマンスを向上させます。

質問: **44**
要件 :ソリューションは、軍事基準を満たすための高度なセキュリティ強化レベルを備えている必要があります。
ワークロード領域において、このセキュリティ要件を満たす物理設計上の決定事項はどれですか？ 2つ選択してください。）
A. vSANストレージポリシーは、許容する二次障害数 = 1 に設定されます。
B. VCF Operationsは、セキュリティポリシーに従ってvCenter ServerのSSL証明書を更新するように構成されます。

C. NTPは、内部NTPサーバー192.168.12.1および192.168.24.1に設定されます。
D. 詳細設定 UserVars.SuppressShellWarning は、すべての ESXi ホストで 0 に設定されます。
E. VIワークロードドメインvCenter Serverの証明書は、RootCA.Military.Domain.Comによって発行されます。
正解: **(**正解を表示します**)**
* D: UserVars.SuppressShellWarning = 0 を設定すると、シェルアクセス使用時に警告が表示されるようになります。
監査可能性とコンプライアンスの向上。
* E: 信頼できる軍事ルート認証局によって署名された証明書を使用することは、証明書の信頼性と管理連鎖に関するセキュリティコンプライアンス基準に準拠しています。
オプションAとCは運用上のベストプラクティスであり、軍事レベルの強化ではありません。Bは運用自動化に関するものであり、法令遵守レベルの強化ではありません。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 9.0 セキュリティ強化ガイド。

質問: **45**
設計要件には、「ソリューションは、ワークロードのダウンタイムなしに物理ラック全体の障害に耐えられる必要がある」と記載されています。この要件を満たすVCF/vSANの設計上の決定事項はどれですか？
A. すべてのラックを包含する単一のvSAN障害ドメインを構成します。
B. 物理ラックに合わせたvSAN障害ドメインを構成し、ラック障害に耐えられるだけの十分なホスト数とFTT（フォールトタイム）を確保します。
C. ネットワークの複雑さを軽減するために、すべてのホストを単一のラック内に配置します。
D. 最高のパフォーマンスを得るには、RAID-0ストレージポリシーを使用してください。
正解: **(**正解を表示します**)**
vSANの障害ドメインを使用すると、アーキテクトはホストを論理的にグループ化（ラックごとなど）できるため、vSANはラックの境界を認識し、データやレプリカを異なる障害ドメインに分散配置できます。適切な障害許容度（FTT）ポリシーと組み合わせることで、ラック全体が故障した場合でもデータの可用性が確保され、前述の要件を直接満たすことができます。

質問: **46**
VMwareのどのソリューションが、Broadcomのハードウェアと組み合わさって、クラウドのスケーラビリティ向上に貢献しているのでしょうか？
A. vSphere HA
B. VMware Cloud Foundation
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. vSAN

正解: (正解を表示します)
VMware Cloud Foundation、vSAN、およびBroadcom 25GbEイーサネットアダプタは、VMware環境におけるクラウドのスケーラビリティに貢献します。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu　**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **47**
VMware Cloud FoundationとVMware vSphereの統合における主なメリットは何ですか？
A. ストレージ管理を直接処理します。
B. クラウドコスト管理を簡素化します。
C. 仮想マシンの管理と展開を効率化します。
D. ネットワーク構成を自動化します。
正解: (正解を表示します)
VMware vSphereはVMware Cloud Foundationと統合され、仮想マシンの効率的な管理と展開を実現します。

質問: **48**
Broadcom製ハードウェアを使用する際に必須となるVMwareのトラブルシューティングツールは何ですか？
A. Broadcom RAIDコントローラー診断
B. vSphere Clientのパフォーマンス指標
C. ESXiホストログ
D. VMware vRealize Operations
正解: **B,C,D** (コメントを発表する)
vRealize Operations、ESXiログ、vSphere Clientメトリック、およびRAID診断は、トラブルシューティングに不可欠なツールです。

質問: **49**
VMwareで拡張性の高いストレージソリューションを計画する際、パフォーマンスと柔軟性の観点から、どのBroadcom製コンポーネントを優先的に採用すべきでしょうか？
A. Broadcom RAIDコントローラー
B. vSAN
C. Broadcom NVMe SSD
D. vSphere HA

正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラー、NVMe SSD、およびvSANは、VMware環境において拡張性と柔軟性に優れたストレージソリューションを構築するために不可欠です。

質問: **50**
Broadcom RAIDコントローラーを使用したVMwareストレージのパフォーマンスに関するトラブルシューティングを行う際の主要な手順は何ですか？
A. ディスクの健全性と状態を確認します
B. RAIDコントローラ構成を確認する
C. RAIDコントローラーのファームウェアが最新であることを確認してください。
D. RAIDコントローラーの設定をリセットします
正解: **(**正解を表示します**)**
RAIDのパフォーマンス問題を解決するには、適切な構成の確認、ファームウェアの更新、ディスクの状態チェックが不可欠です。

質問: **51**
Broadcomのネットワークソリューションは、VMware Horizon仮想デスクトップ環境をどのようにサポートしていますか？
A. 低遅延ネットワーク
B. 高スループット
C. 効率的なリモートアクセス
D. 仮想マシンの移行
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcomのネットワークソリューションは、低遅延、高スループット、効率的なリモートアクセス、そしてスムーズなVM移行を実現することで、VMware Horizonをサポートします。

質問: **52**
どのBroadcom製コンポーネントがVMware環境の全体的な拡張性を向上させますか？
A. Broadcom RAIDコントローラー
B. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
C. vSphere DRS
D. Broadcom NVMe SSD
正解: **B,C (**コメントを発表する**)**
25GbEイーサネットアダプタとvSphere DRSは、VMware環境における全体的な拡張性を向上させる上で重要な要素です。

質問: **53**
VMwareのどの機能が、Broadcom環境における自動化と効率化をサポートしているのでしょうか？

A. VMware vSAN
B. VMware vCenter Server
C. VMware vRealize Automation
D. Broadcomのネットワークオフロード機能
正解: **(**正解を表示します**)**
vRealize Automation、vCenter Server、vSAN、およびネットワークオフロード
は、Broadcom環境における自動化と効率性を向上させます。

質問: **54**
VMware Cloud Foundation (VCF) 設計プロジェクトにおいて、vSANを主要なストレージ
ソリューションとして使用する場合のアーキテクチャワークショップで、以下の要件が特
定されました。
REQ001: アプリケーションは、災害復旧（DR）シナリオを除き、営業時間中に最低1,000トランザクション/秒（TPS）を維持する必要があります。
REQ002：自動DRSおよびHAを使用する必要があります。
REQ003：計画的なメンテナンスは営業時間外に実施しなければならない。
アプリケーションのTPSを監視する際に、これらの要件を検証するための有効なテスト
ケースとして適切でないものは次のうちどれですか？
A. vSphere 高可用性 (HA) フェイルオーバー アクティビティをトリガーします。
B. vSANディスクグループキャッシュドライブの障害をトリガーします。
C. DRS vMotionアクティビティを完全に自動でトリガーします。
D. vCenterアップグレードワークフローをトリガーします。
正解: **(**正解を表示します**)**
テストケースでは、以下の3つの要件すべてを検証する必要があります。営業時間中に
1,000 TPSを維持すること（REQ001）、自動DRSおよびHAを使用すること（REQ002）、およびメンテナンスが営業時間外に行われることを保証すること（REQ003、つまり営業時間中の業務中断を最小限に抑えること）。
それぞれ評価してみましょう。
オプションA：vSphere高可用性（HA）フェイルオーバーアクティビティをトリガーする
HAフェイルオーバー（ホスト障害など）では、VMの自動再起動（REQ002）をテストし、障害発生時（サイト内障害であるためDRは除く）の営業時間中にTPS（REQ001）が1,000に維持されることを確認します。VCF 5.2管理ガイドでは、可用性を検証するためにHAテストを実施することを推奨しており、このテストは有効です。
オプションB：vSANディスクグループキャッシュドライブの障害をトリガーする
vSANにおけるキャッシュドライブの障害は、データ回復力と、必要に応じてVMを再起動するHA機能（REQ002）をテストすると同時に、業務時間中のTPS（REQ001）を監視します。vSAN管理ガイドでは、このテストをvSANのパフォーマンスとリカバリに関する標準テストとして推奨しており、要件に準拠しています。
オプションC：DRS vMotionアクティビティを完全に自動でトリガーする

完全自動化されたDRSは、vMotionをトリガーして負荷分散を行い（REQ002）、業務時間中に中断なくTPS（REQ001）をテストします。これはメンテナンス作業ではありませんが、vSphereリソース管理ガイドに従ってDRS自動化がパフォーマンスに与える影響を検証するため、有効なテストと言えます。
オプションD：vCenterアップグレードワークフローをトリガーする
vCenterのアップグレードは計画的なメンテナンス作業（REQ003）であり、営業時間外に実施する必要があります。営業時間中にTPSを監視するためにアップグレードを実行することはREQ003に反し、管理に影響を及ぼしワークロードに直接影響しないため、DRS/HA（REQ002）やアプリケーションパフォーマンス（REQ001）の一般的なテストではありません。VCF 5.2管理ガイドでは、アップグレードはランタイム検証とは別個のものとして扱われています。
結論：
オプションDは、REQ003に違反し、実行時コンテキストでREQ001またはREQ002を直接検証しないため、有効なテストケースではありません。
参考資料：VMware Cloud Foundation 5.2 管理ガイド（docs.vmware.com）HA および vSAN のテスト。
vSphere リソース管理ガイド (docs.vmware.com): DRS 自動化テスト。
vSAN 管理ガイド (docs.vmware.com): ディスク障害シナリオ。

質問: **55**
VMware Kubernetes Service (VKS) ワークロードクラスタでは、どのコンテナネットワークインターフェイス (CNI) がデフォルトで選択されますか？
A. 入る
B. フランネル
C. キャリコ
D. まつげ
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation 9.0.4 アーキテクチャおよび設計ガイドによると、「VKSクラスタネットワーク」では、VMware Kubernetes Service (VKS) は、ポッドとサービスのネットワーク接続のために、AntreaとCalicoという2つのコンテナネットワークインターフェイス (CNI) オプションをサポートしています。ドキュメントには、次のように明記されています。
「VKSによってプロビジョニングされたVKSクラスタは、Antrea（デフォルト）とCalicoという2つのCNIオプションをサポートしています。」さらに、Antreaは自動的にデフォルトとして選択され、ユーザーがクラスタのYAMLファイルでCalicoを指定しない限り、明示的な設定は不要であると説明されています。
VMwareが開発したAntreaは、ネットワークにOpen vSwitch（OVS）を活用し、ネットワークポリシーの適用、カプセル化、トラフィックの可視化といった高度な機能をサポートしているため、VKSクラスタの最適なデフォルトCNIとなっています。一方、Linuxブリッジと

BGPを使用するCalicoは、特定のネットワークトポロジや統合を必要とする組織にとって、依然として有力な選択肢です。
したがって、特に指定がない限り、VMware Cloud Foundation におけるすべての新しい VKS ワークロード クラスタは、一貫性、NSX ネットワークとの統合、および VCF ライフサイクル管理との完全な互換性を維持するために、デフォルトのネットワーク プロバイダとして Antrea を使用してデプロイされます。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
* VMware Cloud Foundation 9.0.4 設計ガイド - 「VKS クラスタ ネットワーク: Antrea (デフォルト) と Calico オプション」
* VMware Cloud Foundation 9.0.4 - 「VKS クラスタのデフォルト CNI を設定する」（システム定義のデフォルト:
アントレア）。

質問: **56**
既存のvSphere環境から新しいVMware Cloud Foundationインフラストラクチャへ5000台の仮想マシンを移行するためのソリューションを提案するよう、アーキテクトに依頼があった。
ダウンタイムを最小限に抑え、プロセスを自動化するために、アーキテクトが推奨できる機能やツールはどれですか？
A. VMware HCX
B. vSphere vMotion
C. VMware Converter
D. クロスvCenter vMotion
正解: **A (**コメントを発表する**)**
既存の vSphere 環境から新しい VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 インフラストラクチャに 5000 台の仮想マシン (VM) を移行する場合、主な目標はダウンタイムを最小限に抑え、プロセスを可能な限り自動化することです。VMware Cloud Foundation 5.2 は、vSphere、vSAN、NSX、および Aria Suite を統合し、統一されたプライベート クラウド エクスペリエンスを提供するフルスタックのハイパー コンバージド インフラストラクチャ (HCI) ソリューションです。移行規模 (5000 台の VM) と、既存の vSphere 環境から新しい VCF インフラストラクチャへの移行要件を考慮すると、アーキテクトは、大規模な移行をサポートし、ダウンタイムを最小限に抑え、異なる環境やデータ センター間で自動化機能を提供するツールを選択する必要があります。
それぞれの選択肢を詳しく評価してみましょう。
A). VMware HCX:
VMware HCX (Hybrid Cloud Extension) は、VMware Cloud Foundation への移行を含む、vSphere 環境間の大規模なワークロード移行専用に設計されたアプリケーション モビリティ プラットフォームです。HCX は VCF Enterprise Edition に含まれており、ダウンタイムなしのライブ移行、一括移行、ネットワーク拡張などの高度な機能を提供します。ソー

ス環境と宛先環境間のハイブリッド インターコネクトの作成を自動化し、IP アドレスの変更を必要とせずに (レイヤ 2 ネットワーク拡張を介して) シームレスな VM モビリティを実現します。HCX は、vSphere 5.1 以降の古い vSphere バージョンから VCF 5.2 に含まれる最新バージョンへの移行をサポートしており、既存環境から新規環境への移行に最適です。5,000 台の VM の移行の場合、HCX の一括移行 (数百台の VM を同時に実行) 機能と高可用性機能 (冗長アプライアンスなど) により、中断を最小限に抑え、効率的な自動化を実現します。HCX は VCF の SDDC Manager とも統合されており、VCF 5.2 の集中管理パラダイムに準拠しています。

B). vSphere vMotion:

vSphere vMotion を使用すると、同じ vCenter Server インスタンス内で、稼働中の VM をある ESXi ホストから別の ESXi ホストへダウンタイムなしでライブ移行できます。これは単一のデータセンターまたは vCenter 環境内での移行には優れたツールですが、同じ vCenter Server で管理されているホストに限定されます。VM を新しい VCF インフラストラクチャに移行する場合、通常は別の vCenter インスタンス (たとえば、VCF 内の新しい管理ドメイン) が必要になりますが、vMotion だけでは対応できません。5000 台の VM の場合、vMotion では各 VM に対して手動での操作が必要となり、異なる環境やデータセンター間で効率的に拡張できないため、このシナリオの主要ツールとしては不向きです。

C). VMware Converter:

VMware Converter は、物理マシンやその他の仮想フォーマット (Hyper-V など) を VMware VM に変換するために設計されたツールです。これは主に、既存の VMware VM を vSphere 環境間で移行するのではなく、物理環境から仮想環境 (P2V) または仮想環境から仮想環境 (V2V) への変換に使用されます。Converter は、ソース VM の電源をオフにし、クローンを作成してから、移行先の環境で電源をオンにする必要があるため、ダウンタイムが発生します。5000 台の VM の場合、このプロセスは非常に時間がかかり、大規模な移行のための自動化が不足しており、ダウンタイムを最小限に抑えるという要件を満たせないため、実用的ではありません。

D) クロスvCenter vMotion:

Cross vCenter vMotionは、vMotionの機能を拡張し、異なるvCenter Serverインスタンス間、さらにはデータセンター間でも、ダウンタイムなしでVMを移行できるようにします。この機能は強力で、理論的にはVMを新しいVCF環境に移動するために使用できますが、両方の環境が同じ拡張リンクモード構成でリンクされている必要があり、vSphereのバージョンが互換性があることを前提としています。5000台のVMの場合、Cross vCenter vMotionにはHCXが提供するような一括移行および自動化機能がないため、移行をオーケストレーションするにはかなりの手作業が必要になります。さらに、ネットワーク拡張機能や、HCXと同レベルのVCFアーキテクチャとの統合機能も提供していません。

VMware HCXが最適な選択肢である理由：

VMware HCX は、大規模な移行 (最大数百台の VM を同時に処理) に対応し、ライブ移行によってダウンタイムを最小限に抑え、ネットワーク拡張や移行スケジューリングなどの機能でプロセスを自動化できるため、このシナリオにおける推奨ソリューションとして際

立っています。HCX は、VCF 5.2 のドキュメントでワークロード移行の主要ツールとして明確に紹介されており、特に既存の vSphere 環境を VCF にインポートする場合 (HCX を補完する VCF インポート ツールなど) に有効です。ライブ移行とスケジュール移行の両方をサポートしているため柔軟性が高く、VCF 5.2 の SDDC Manager との統合により管理が効率化されます。5000 台の VM の移行においては、HCX のスケーラビリティ、自動化、およびダウンタイムの最小化機能により、他のオプションよりも優れた選択肢となります。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 5.2 リリースノート（techdocs.broadcom.com）、VMware Cloud Foundation 導入ガイド（docs.vmware.com）、「VMware Cloud FoundationとVMware HCXによるワークロード移行の実現」（blogs.vmware.com、2022年5月3日）

質問: **57**
VMware Cloud Foundation (VCF) Operationsの導入設計の一環として、アーキテクトは、VCF Operationsが、中央データセンターと複数の国にある複数のリモートサイトで構成される顧客のインフラストラクチャを監視できることを確認する必要があります。
デザインワークショップにおいて、以下の要件が特定された。
* REQ#001: 企業のITユーザーは、単一の管理ポイントからパフォーマンス、アラート、および容量の詳細を確認できる必要があります。
* REQ#002: 監視ソリューションは、不安定なWAN接続によるデータ損失を防ぐため、リモートサイトでのローカルデータ収集をサポートする必要があります。
* 要件#003: 監視ソリューションは、現地のデータ主権規制に準拠する必要があります。
どの導入モデルがすべての設計要件を満たしますか？
A. 各リモートサイトにクラウドプロキシを備えた単一のVCFフリート
B. 各遠隔地には独自のVCFフリートが用意されます。
C. すべての遠隔地は単一のVCFフリートになります。
D. 複数のVCFインスタンスを持つ単一の艦隊
正解: **(正解を表示します)**
単一のVCF Operationsインスタンス（中央管理ポイント）をデプロイし、クラウドプロキシまたはコレクターノードをリモートサイトに配置することで、ローカルでのデータ取り込みが可能になります。これにより、リモートサイトの回復力（REQ#002）、ITユーザー向けの一元化された可視性（REQ#001）、およびデータがローカル管轄区域内に保持されるためのデータ主権コンプライアンス（REQ#003）が確保されます。このモデルは、管理インフラストラクチャの重複を最小限に抑えたマルチサイト監視に関するVMwareの推奨ベストプラクティスに準拠しています。
参考資料 :VMware Aria Operations 導入ガイド - クラウドプロキシとマルチサイト監視アーキテクチャ

質問: **58**

あるアーキテクトが、VMware Cloud Foundation (VCF) ベースのプライベートクラウドソリューションを設計しています。顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が記録されました。
サイトレベルの災害が発生した場合、ソリューションはすべての本番ワークロードをセカンダリサイトで再起動できるようにする必要があります。
ホスト障害が発生した場合、ワークロードは優先順位に従って再起動する必要があります。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. 入手可能性
B. 管理性
C. パフォーマンス
D. 回復可能性
正解: **(**正解を表示します**)**
VMwareの設計手法（VCF 5.2準拠）では、設計特性を用いて要件を重点項目に基づいて分類します。これらの特性には、可用性、管理性、パフォーマンス、復旧性、セキュリティが含まれます。
2つの要件を分類してみましょう。
要件 1: サイトレベルの災害が発生した場合、ソリューションはセカンダリサイトで全ての運用ワークロードを再起動できるようにする必要があります。これは、サイト障害後にワークロードを復旧する機能、特にセカンダリロケーションでの運用復旧に焦点を当てた機能を示しています。VCF 5.2 アーキテクチャ ガイドでは、これを災害復旧 (DR) および障害後のサービス復旧を扱うリカバリ可能性と整合させています。
要件 2: ホスト障害が発生した場合、ワークロードは優先順位に従って再起動する必要があります。これは、ホスト障害発生後にワークロードを優先順位に従って再起動すること（vSphere HA など）を意味し、復旧プロセスを重視します。HA は可用性と関連付けられることが多いですが、ここでは「優先順位に従って再起動する」ことに重点を置くことで、VMware の設計品質定義に従ってシステムが障害からどのように復旧するかを扱い、復旧性へと焦点を移します。
オプションA：利用可能性
可用性は、システムの稼働時間と耐障害性（例えば、HAによるダウンタイムの防止）を保証するものです。ホスト障害からの復旧にはHAが関わっていますが、「再起動」やサイトレベルのDRに重点が置かれていることから、継続的な可用性よりも復旧性の方が重視されていることがわかります。
オプションB：管理のしやすさ
管理の容易さは、管理のしやすさ（監視、自動化など）に重点を置いています。どちらの要件も運用管理ではなく、障害復旧プロセスに関するものです。
オプションC：パフォーマンス
パフォーマンスとは、速度と効率（例レイテンシ、スループット）を指します。これらの要件はパフォーマンス指標を規定するものではなく、回復能力に重点を置いています。

オプションD：回復可能性
リカバリ機能とは、障害発生後にシステムがサービスを復旧できることを保証するもので、サイトレベルの災害復旧（セカンダリサイトの再起動）とホストレベルのリカバリ（優先順位付けされた再起動）の両方を含みます。VCF 5.2設計ガイドでは、災害復旧とフェイルオーバーリカバリをリカバリ機能に分類しており、これが最適な分類となっています。
結論：
これらの要件はどちらもリカバリー性に合致しており、VMwareの設計品質フレームワークに基づき、障害発生後（サイトレベルおよびホストレベル）のワークロードの復旧に重点を置いています。
参照：VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャガイド（docs.vmware.com）：設計品質と復旧性に関するセクション。
VMware Cloud Foundation 5.2 設計ガイド (docs.vmware.com): 設計品質による要件の分類。

質問: **59**
vSphere環境において、複数のESXiホストを管理する役割を担うコンポーネントはどれですか？
A. NSX-T マネージャー
B. vSAN
C. vCenter Server
D. ESXi
正解: **(**正解を表示します**)**
vCenter Serverは、vSphere環境における中核的な管理コンポーネントです。

質問: **60**
Broadcomのハードウェア最適化によって恩恵を受けるVMwareのクラウドソリューションはどれですか？
A. VMware vSphere
B. VMware vCloud Director
C. VMware Cloud on AWS
D. VMware Horizon Cloud
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud on AWS、vSphere、vCloud Director、Horizon Cloudはすべて、Broadcomのハードウェア最適化の恩恵を受けています。

質問: **61**
VMware環境で拡張性の高いストレージソリューションを設計する上で、Broadcomのどのソリューションが不可欠ですか？
A. Broadcom RAIDコントローラー
B. ファイバーチャネルHBA

C. vSAN
D. Broadcom NVMe SSD
正解: **A,C,D** (コメントを発表する)
BroadcomのRAIDコントローラー、NVMe SSD、およびvSANは、VMware環境における拡張性の高いストレージソリューションを設計する上で重要な要素です。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu 「**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **62**
VMware vSphereのどの機能を使えば、仮想マシンが特定のパフォーマンスと可用性の要件を満たすように、データストアの機能を定義して適用できますか？
A. パフォーマンスサービス
B. ホストプロファイル
C. ストレージポリシー
D. ストレージポリシーコンポーネント
正解: (正解を表示します)

質問: **63**
Broadcomのどのソリューションが、大規模アプリケーション向けVMwareネットワークのパフォーマンス向上に役立ちますか？
A. ファイバーチャネルHBA
B. VMware NSX
C. vSphere Distributed Switch (VDS)
D. Broadcom 25GbEイーサネットアダプター
正解: (正解を表示します)
Broadcom 25GbEイーサネットアダプタとvSphere Distributed Switch（VDS）は、大規模なVMwareアプリケーションのネットワークパフォーマンスを向上させます。

質問: **64**
Broadcom製アダプタを使用してVMwareネットワークのパフォーマンスを最適化するためのベストプラクティスは何ですか？
A. ネットワークアダプターのチーミングを無効にする
B. 10GbEアダプタを備えたVMware vSwitchを使用する
C. 負荷分散の実装

D. ジャンボフレームを有効にする
正解: **B,C,D (**コメントを発表する**)**
ジャンボフレーム、10GbE vSwitch、およびロードバランシングは、VMwareにおけるネットワークパフォーマンスを向上させます。

質問: **65**
ある顧客は、VMware Cloud Foundation（VCF）の新規導入の一環として、vSphere IaaSコントロールプレーンの実装を計画している。
このソリューションを実装するために、どのコンポーネントをインストールして有効化すればよいでしょうか？
A. ストレージDRS
B. アリアーオートメーション
C. アリアオペレーションズ
D. NSX Edge ネットワーク
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 では、vSphere IaaS (Infrastructure as a Service) コントロールプレーンが vSphere を拡張し、通常は上位レベルのツールとの統合を通じて、クラウドのようなプロビジョニングと自動化機能を提供します。本質問は、この機能を実現するコンポーネントはどれかを尋ねています。
評価してみましょう：
オプションA：ストレージDRS
Storage DRS (Distributed Resource Scheduler) は、vSphere 内でストレージ管理 (ロードバランシングなど) を自動化します。これは vSAN/vSphere の機能であり、広範なプロビジョニングやオーケストレーション機能がないため、IaaS コントロール プレーンではありません。これは誤りです。
オプションB：Ariaオートメーション
これは正しいです。VMware Aria Automation（旧vRealize Automation）は、SDDC Managerを介してVCFと統合され、vSphere上にIaaSコントロールプレーンを提供します。これにより、VM、アプリケーション、インフラストラクチャのセルフサービスプロビジョニング（ブループリントなどを使用）が可能になり、vSphereをクラウドモデルへと拡張できます。VCF 5.2では、Aria AutomationのvSphere IaaSコントロールプレーン機能（vSphere 7.0以降で導入）により、vSphereリソースをIaaSプラットフォームとして直接管理できるようになり、このソリューションの主要コンポーネントとなっています。
オプションC：ARIAオペレーション
Aria Operations（旧vRealize Operations）は、VCFの監視と分析機能を提供します。パフォーマンスと健全性を追跡しますが、プロビジョニングやIaaS制御は対象としていません。確かに便利な機能ではありますが、IaaS制御プレーンを実装しているわけではないため、この点は誤りです。
オプションD：NSX Edgeネットワーク

NSX Edge は VCF で高度なネットワーク機能 (ロードバランシング、ゲートウェイなど) を提供します。ネットワークサービスを有効にすることで IaaS をサポートしますが、コントロールプレーン自体ではありません。コントロールプレーンはリソースをオーケストレーションするものであり、単にネットワーク接続するものではありません。これは誤りです。
結論：
vSphere IaaSコントロールプレーンにインストールして有効化するコンポーネントは、Aria Automation（B）です。これにより、VCF 5.2内でvSphereがIaaSプラットフォームに変換され、顧客の導入目標が達成されます。
参照: VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャおよびデプロイメント ガイド (セクション: Aria Automation 統合) VMware Aria Automation 8.10 ドキュメント (VCF 5.2 に統合): vSphere IaaS コントロール プレーン VMware vSphere 7.0U3 ドキュメント (VCF 5.2 に統合): IaaS 機能

質問: **66**
VMware vSphereのネットワークとストレージを最適化するために、Broadcomのどのソリューションが重要ですか？
A. vSAN
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. BroadcomファイバーチャネルHBA
正解: **(正解を表示します)**
Broadcom製の25GbEイーサネットアダプタ、RAIDコントローラ、およびvSANは、VMware vSphere環境におけるネットワークとストレージを最適化するための重要なコンポーネントです。

質問: **67**
どのBroadcom製品がVMware Cloud Foundationのストレージパフォーマンス向上に役立ちますか？
A. Broadcom RAIDコントローラー
B. ブロードコム製NVMe SSD
C. Broadcom製イーサネットアダプタ
D. BroadcomファイバーチャネルHBA
正解: **(正解を表示します)**
Broadcom製のNVMe SSDとRAIDコントローラーは、VMware Cloud Foundationのストレージパフォーマンスを向上させます。

質問: **68**
VMware Cloud Foundationにおいて、ネットワークトラフィックとセキュリティの監視を容易にするVMwareツールはどれですか？

A. VMware vSphere
B. VMware vSAN
C. VMware vRealize Operations
D. VMware NSX
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware NSXとvRealize Operationsは、ネットワークトラフィックとセキュリティの監視に不可欠です。

質問: **69**
VMware Cloud Foundationのどのツールがクラウドのリソース利用を最適化するのに役立ちますか？
A. VMware vRealize Operations
B. VMware vRealize Automation
C. VMware vSAN
D. VMware vSphere
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vRealize OperationsとvRealize Automationは、VMware Cloud Foundationにおけるクラウド リソースの利用効率を最適化するために不可欠です。

質問: **70**
2つの可用性ゾーンを持つVMware Cloud Foundation（VCF）フリート（災害復旧モデル）設計において、可用性ゾーン間で複製されるVCFコンポーネントはどれですか？
A. VCFオートメーション
B. vCenter
C. SDDCマネージャー
D. NSX
E. VCFオペレーション
正解: **(**正解を表示します**)**
災害復旧機能を備えたVCFフリート（AZモデル）の場合：
vCenterは複製されるため、サイト障害発生後もvSphereワークロードの管理が継続されます。
NSXは、ネットワークの継続性（セグメント、TEP、エッジサービス）を確保するために複製されます。
その他の構成要素：
SDDC Managerはフリートレベルのものであり、AZごとに複製されるわけではありません。
VCFオートメーションとVCFオペレーションはオプションのアドオンであり、DRモデルによって自動的に複製されるものではありません。
そのため、vCenterとNSXは耐障害性を高めるために複数のアベイラビリティゾーン（AZ）に複製されます。

質問: **71**
あるアーキテクトがVMware Cloud Foundation（VCF）のアーキテクチャ設計に取り組んでおり、以下の要件を特定しました。
- 組織は、サードパーティの仮想アプライアンスを使用しています。
オーバーレイネットワークはサポートしていません。
- 仮想アプライアンスは、
外部物理ファイアウォール。
- 仮想アプライアンスには、以下のワークロードへのアクセスも必要です。
現在はNSXが提供するオーバーレイセグメント上でホストされています。
これらの要件を満たすために、建築家はどのような設計上の決定を下すべきでしょうか？
A. サードパーティベンダーに、NSX Overlayセグメント用の仮想アプライアンスの認証を依頼してください。
B. 仮想アプライアンスをVLANでバックアップされたセグメントに接続し、オーバーレイセグメントへのアクセスを許可するようにNSXブリッジングを構成します。
C. 仮想アプライアンスとすべてのワークロードをVLANでバックアップされたセグメントに配置します。
D. 仮想アプライアンスをオーバーレイバックセグメントに接続し、ファイアウォールへの静的ルートを使用します。
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation 9.0.2 デザインガイド（NSX ブリッジングとレイヤ 2 接続）によると、ワークロードまたはアプライアンスが物理ネットワーク デバイスとのレイヤ 2 隣接を必要とし、オーバーレイ カプセル化 (Geneve) をサポートしていない場合、NSX Edge ブリッジングが検証済みのソリューションです。
文書には次のように記載されています。
「ブリッジ機能は、NSX Edgeのアップリンク上のVLAN IDで識別されるVLANにオーバーレイセグメントを拡張します。これにより、NSXオーバーレイセグメント上の仮想マシンとVLANベースのネットワーク上の物理ワークロードとの間でレイヤ2接続が可能になります。」サードパーティ製アプライアンスをVLANベースのセグメントに接続し、NSXブリッジングを構成することで、アプライアンスはファイアウォールへの直接的なレイヤ2接続を獲得し、オーバーレイセグメント上のワークロードはブリッジを介してシームレスに通信できます。
このアプローチは、NSXネットワークの論理的な分離を維持しつつ、L2隣接要件を満たします。これは、オーバーレイ機能を持たないシステムを統合するための一般的な設計パターンです。

質問: **72**

あるアーキテクトが、VMware Cloud Foundation（VCF）ベースのプライベートクラウドソリューションを設計しています。顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
このソリューションは、50個の同時ワークロードを展開できる能力を備えている必要があります。
このソリューションは、サービスが一度送信されると、各サービスがプロビジョニングされるまでに6時間以上かからないことを保証する必要があります。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. 入手可能性
B. 回復可能性
C. パフォーマンス
D. 管理性
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 では、設計品質（または非機能要件）によって、ソリューションがその目的をどのように達成するかが分類されます。「50 の同時ワークロードをデプロイする」および「各サービスを 6 時間以内にプロビジョニングする」といった要件は、その意図を反映した品質に分類する必要があります。
それぞれの選択肢を評価してみましょう。
オプションA：利用可能性
可用性とは、必要なときにソリューションがアクセス可能で動作することを保証するものです（例：稼働率）。ワークロードの展開やサービスのプロビジョニングは可用性を前提としていますが、要件は稼働率や耐障害性ではなく、速度と容量（同時ワークロード50、6時間制限）に重点を置いています。この品質は明示されたニーズに直接対応していないため、不適切です。
オプションB：回復可能性
リカバリー性とは、障害発生後にサービスを復旧する能力（例えば、災害復旧）を指します。要件には、障害シナリオ、バックアップ、復旧については記載されておらず、通常運用時のプロビジョニング速度と同時実行性に重点が置かれています。リカバリー性はこれらの運用指標とは無関係であるため、この説明は誤りです。
オプションC：パフォーマンス
これが正解です。パフォーマンスとは、速度、スループット、容量など、ソリューションがタスクをどれだけ効率的に実行できるかを測定するものです。VCF 5.2では次のようになります。
「50個の同時ワークロードの展開」はスループット要件であり、システムが複数の展開を同時に処理できることを保証するものです。
「各サービスのプロビジョニングに6時間以上かからないこと」は、レイテンシまたは応答時間の要件であり、パフォーマンスの境界を設定するものです。

どちらも、プロビジョニングワークフロー（SDDC ManagerやAria Automationなど）におけるリソース効率とユーザーエクスペリエンスを左右するパフォーマンス品質に合致しています。この分類は、VMwareの設計フレームワークに適合しています。
選択肢D：管理のしやすさ
管理性は、管理、監視、保守の容易さ（自動化、UIの簡素化など）に重点を置いています。ワークロードのプロビジョニングには管理が伴いますが、要件では処理速度と処理量（パフォーマンス指標）が重視され、プロセス管理の容易さは重視されません。管理性は、このプロセスを可能にするツールには適用されるかもしれませんが、ここでは主要な品質ではありません。
結論：
これらの要件を分類するための設計品質は、パフォーマンス（オプションC）です。これは、50の同時ワークロードを処理し、6時間以内にサービスをプロビジョニングできるソリューションの能力を直接反映しており、VCF 5.2の運用効率重視の方針に合致しています。
参照資料：VMware Cloud Foundation 5.2 計画および準備ガイド（セクション：設計品質）、VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャおよびデプロイメントガイド（セクション：パフォーマンスに関する考慮事項）

質問: **73**
Broadcom NVMe SSDを使用する場合、VMwareのストレージパフォーマンスを最適化するにはどうすればよいでしょうか？
A. ストレージ階層化を実装する
B. 複数のSSDをRAID 1構成で使用する
C. NVMeドライバの設定
D. SSDキャッシュを有効にする
正解: **(**正解を表示します**)**
SSDキャッシング、NVMeドライバの設定、およびストレージ階層化は、VMwareストレージの最適化に効果的です。

質問: **74**
要件収集ワークショップにおいて、顧客からいくつかのビジネス要件と技術要件が収集された。
どの要件が技術要件に分類されますか？
A. サービスリクエストのシステム処理時間を25%削減します。
B. システムは5,000人の同時接続ユーザーをサポートする必要があります。
C. 顧客満足度を15%向上させる。
D. 新たな地理的地域を含めて市場範囲を拡大する。
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation（VCF）アーキテクチャでは、要件は重点分野に基づいてビジネス要件と技術要件に分類されます。技術要件は、測定可能なシステム機能や制約を規定し、

コンピューティング、ストレージ、ネットワークなどのインフラストラクチャコンポーネントの設計上の決定に直接影響を与えます。一方、ビジネス要件は、ITがサポートする組織の目標や成果に焦点を当てます。
オプションBの「システムは5,000人の同時ユーザーをサポートしなければならない」は、特定のシステム容量指標（同時ユーザー数）を定義するため、技術的な要件です。これは、ワークロードドメインのサイジングやNSX構成など、VCF設計におけるスケーラビリティとリソース割り当てに直接影響を与えます。
選択肢Aの「サービスリクエストのシステム処理時間を25%削減する」は技術的な内容になり得るが、多くの場合、ビジネス目標（効率性から派生したものであり、この文脈ではそれほど技術的な内容ではない。
顧客満足度と市場浸透度に焦点を当てたオプションCとDは、明らかにビジネス志向であり、システム仕様よりも組織の成果に結びついている。
参考資料：VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクト学習ガイド、第2章：要件の収集と分析、要件の分類に関するセクション。

質問: **75**
VMware Cloud Foundation環境において、ネットワークとストレージを管理するためにBroadcom製ハードウェアと統合するVMwareコンポーネントはどれですか？
A. vSphere HA
B. VMware NSX
C. vCenter Server
D. vSAN
正解: **C** (コメントを発表する)
vCenter Serverは、Broadcom製ハードウェアを搭載したVMware Cloud Foundationにおいて、ネットワーク（VMware NSX経由）とストレージ（vSAN経由）の両方を統合します。

質問: **76**
どのBroadcomソリューションがVMware Cloud Foundationのネットワークパフォーマンスを最適化しますか？
A. ブロードコム製イーサネットアダプタ
B. Broadcomファイバーチャネル HBA
C. Broadcom NVMe SSD
D. Broadcom RAIDコントローラー
正解: (正解を表示します)
Broadcom製イーサネットアダプタは、VMware Cloud Foundationにおけるネットワークパフォーマンスを最適化します。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu　**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **77**
VMware環境におけるBroadcomファイバーチャネルのパフォーマンスを最適化するには、どのような手法が有効でしょうか？
A. ファイバーチャネルのゾーニングを必要なデバイスに限定する
B. ファイバーチャネルのフロー制御を有効にする
C. ファイバーチャネルポート数を増やす
D. より高いスループットを持つファイバーチャネルスイッチを使用する
正解: (正解を表示します)
ポート数の増加、高速スイッチの使用、フロー制御の有効化、およびゾーニングの制限は、ファイバーチャネルのパフォーマンスを向上させます。

質問: **78**
BroadcomソリューションをVMware Cloud Foundationと統合することによる主なメリットは次のうちどれですか？
A. Broadcom製GPUによるセキュリティの向上
B. Broadcom RAIDコントローラによるデータ冗長性の強化
C. Broadcom NVMeソリューションによるストレージ性能の向上
D. ブロードコム製イーサネットアダプタによるネットワーク性能の向上
正解: (正解を表示します)
Broadcomのイーサネットアダプタ、NVMeストレージ、RAIDコントローラなどのハードウェアソリューションは、VMware Cloud Foundationにおけるネットワーク、ストレージ、冗長性のパフォーマンスを向上させます。

質問: **79**
VMware環境において、Broadcom 25GbEイーサネットアダプタを使用するメリットは何ですか？
A. スループットの向上
B. 強化されたセキュリティ
C. 低遅延
D. ストレージ容量の増加
正解: (正解を表示します)
Broadcomの25GbEイーサネットアダプタは、VMware環境におけるスループットを向上させ、レイテンシを低減します。

質問: **80**
VMware vSAN向けの高性能ストレージアーキテクチャを設計する際に推奨されるBroadcomソリューションはどれですか？
A. Broadcom NVMe SSD
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
D. BroadcomファイバーチャネルHBA
正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラーは、VMware vSANを使用した高性能ストレージアーキテクチャを構築するために不可欠です。

質問: **81**
Broadcomソリューションを使用してVMware vSphereネットワークを設計する際に、最大限の拡張性を実現するために考慮すべき要素は何ですか？
A. vSphere Distributed Switch (VDS)
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. 25GbEイーサネットアダプター
D. vSAN
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vSphereにおけるネットワークのスケーラビリティを実現するには、25GbEイーサネットアダプタとvSphere Distributed Switch（VDS）が不可欠です。

質問: **82**
VMware Cloud Foundationで高速ストレージを実現するには、どのBroadcom製品が必要ですか？
A. ブロードコム製イーサネットアダプタ
B. ブロードコムRAIDコントローラー
C. Broadcom ファイバーチャネル HBA
D. Broadcom NVMe SSD
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundationで高速ストレージを実現するには、Broadcom製のNVMe SSDとファイバーチャネルHBAが必要です。

質問: **83**
vSphere 8.x では、仮想マシンごとにサポートされる vCPU の最大数はいくつですか？
A. 64
B. 128
C. 512
D. 256

正解: (正解を表示します)
vSphere 8.xは、仮想マシンあたり最大256個のvCPUをサポートし、高性能なワークロードを実現します。

質問: **84**
VKSポッドは、非永続的なデータを保存するためにどのタイプのストレージを使用しますか？
A. コンテナイメージストレージ
B. vSphereローカルストレージ
C. オブジェクトストレージ
D. 一時的なストレージ
正解: (正解を表示します)
VMware Cloud Foundation 9.0.4 アーキテクチャおよび設計ガイドによると、vSphere Pod（VMware Kubernetes Service または VKS クラスタをサポートするもの）は、一時的な VMDK、永続ボリューム VMDK、およびコンテナイメージ VMDK の 3 種類のストレージを使用します。
文書には明確に記載されています。
「vSphere Pod は、動作中にログ、emptyDir ボリューム、ConfigMap などの Kubernetes オブジェクトを保存するために、一時的なストレージを必要とします。この一時的なストレージは、Pod が存在する限り有効です。」一時的なストレージは、設計上永続的ではなく、Pod のライフサイクルが終了すると削除されます。アプリケーション ログ、一時キャッシュ、一時的なコンピューティング データなど、Pod の寿命を超えて永続化する必要のないデータのための一時的な領域を提供します。これは、vSphere インフラストラクチャに統合された Kubernetes の一時ストレージ モデルと一致しています。
一方、永続的なワークロードは、ストレージポリシーとvSphere CNSを基盤とする永続ボリュームを利用します。
したがって、一時的なストレージは、永続的でないポッドデータに適したタイプです。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
VMware Cloud Foundation 9.0.4 - 「スーパーバイザーのストレージポリシー」（5632〜5633 ページ）VMware Cloud Foundation 9.0.4 - 「vSphere Pod ストレージタイプ：一時的、永続的、およびコンテナイメージ VMDK」

質問: **85**
VMware Cloud Foundationのどの機能が、仮想マシンのライフサイクル管理において重要ですか？
A. VMware vRealize Automation
B. VMware vSAN
C. VMware vSphere

D. VMware NSX
正解: **(**正解を表示します**)**
vSphereとvRealize Automationは、仮想マシンのライフサイクル管理において重要な役割を果たします。

質問: **86**
VMware Cloud Foundationのどの機能が、災害復旧と事業継続性を確保するために不可欠ですか？
A. VMware vSphere HA
B. VMware NSX
C. VMware vRealize Automation
D. VMware vSAN
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundationにおいて、VMware vSphere HA、vSAN、およびNSXは、災害復旧と事業継続にとって不可欠です。

質問: **87**
最初の関係者会議の一環として、関係者の1人が次のように述べました。
* ハードウェア規格に基づき、新規ホストサーバーのハードウェアはすべて、当社が選定したハードウェアベンダーおよびサーバーモデルを使用して導入する必要があります。
建築家はこの記述をどのように分類するだろうか？
A. 仮定
B. 制約
C. 要件
D. リスク
正解: **(**正解を表示します**)**
VMwareのCloud Foundation 9.0.1設計およびアーキテクチャガイドでは、設計入力は要件、制約、前提条件、リスクの4つのカテゴリに分類されます。制約とは、 設計者の設計上の選択肢や利用可能なオプションを制限する要因」と定義されています。ステークホルダーのステートメントでは、 すべての新しいホストサーバーハードウェアは、当社が選択したハードウェアベンダーとサーバーモデルを使用して展開する必要がある」と規定されており、これにより、設計者が代替のハードウェア構成を選択する能力が制限されます。このステートメントは、設計の柔軟性とハードウェアの選択肢を明確に制限するため、制約として分類されます。
VMwareは、制約事項は多くの場合、企業標準、ベンダー契約、またはコンプライアンスポリシーに基づいており、ソリューション設計時に遵守する必要があることを強調しています。アーキテクトは、これらの制約事項を明確に文書化する必要があります。なぜなら、それらはハードウェアの互換性、調達、およびライフサイクル管理の意思決定に直接影響を与えるからです。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：

* VMware Cloud Foundation 9.0.1 設計ガイド - 「設計入力：要件、制約、前提条件、およびリスク」
* VMware Cloud Foundation 9.0.1 アーキテクチャ概要 - 「ハードウェアベンダーと互換性の制約」

質問: **88**
Broadcom製RAIDコントローラを最適化してVMwareストレージのパフォーマンスを向上させるにはどうすればよいでしょうか？
A. ディスクアレイサイズを増やす
B. RAID 1またはRAID 10構成を使用する
C. ファームウェアとドライバーをアップデートする
D. RAIDキャッシングを有効にする
正解: **B,C,D (**コメントを発表する**)**
RAIDキャッシングの最適化、RAID 1/10の使用、およびファームウェアの最新状態の維持は、ストレージのパフォーマンスを向上させます。

質問: **89**
クラスタ上でvSphere高可用性（HA）を有効にするための要件は何ですか？
A. リンクされたvCenterサーバー
B. NSX-Tの導入
C. すべてのホストからアクセス可能な共有ストレージ
D. バックアップサーバーが設定されました
正解: **(**正解を表示します**)**
HA（高可用性を実現するには、ホスト障害後にVM（仮想マシン）を再起動するために共有ストレージが必要です。

質問: **90**
ある建築家が、VMware Cloud Foundationをベースとした新しいソリューションの設計図を作成している。
顧客関係者との要件収集ワークショップを経て、アーキテクトは以下の仮定を立てました。
顧客は、新しいソリューションの規模に見合った十分なライセンスを提供するものとする。
ユーザーのワークロードに使用される既存のストレージアレイは、新しいソリューションの要求を満たすのに十分な容量を備えています。
このデータセンターは、新しいソリューションに必要な物理ホストに対して十分な電力、冷却設備、およびラックスペースを提供します。
データセンター内の物理ネットワークインフラは、新しいソリューションの最大遅延要件を超えることはありません。
これらの前提条件に基づき、建築家は設計図書にどの2つのリスクを含める必要がありますか？（2つ選択してください。）

A. 物理的なネットワークインフラストラクチャが、ユーザーのワークロードをサポートするのに十分な帯域幅を提供していない可能性があります。
B. お客様のデータセンターには、十分な電力、冷却設備、および物理的なラックスペースが確保されていない可能性があります。
C. お客様は、設計に必要なすべての物理コアをカバーするライセンスを所有していない可能性があります。
D. ソリューションの導入前に、前提条件が顧客のステークホルダーの過半数によって承認されない可能性があります。
正解: **A,C (**コメントを発表する**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) 5.2 では、前提条件とは設計目的で真であるとみなされる記述ですが、検証されていない場合はリスクを伴います。アーキテクトは、これらの前提条件から生じるリスク（ソリューションの成功に影響を与える可能性のある問題）を特定し、設計ドキュメントに含める必要があります。各オプションを前提条件に照らし合わせて評価してみましょう。
オプション A: 物理ネットワークインフラストラクチャが、ユーザーワークロードをサポートするのに十分な帯域幅を提供しない可能性があります。これは正しいです。前提条件では、物理ネットワークインフラストラクチャが「最大レイテンシ要件を超えない」とされていますが、帯域幅については考慮されていません。VCF では、ユーザーワークロード (VI ワークロード ドメインなど) は、パフォーマンス (vSAN トラフィック、VM 通信など) のためにネットワーク帯域幅に依存します。帯域幅が不十分だと、レイテンシ要件を満たしていても、ワークロードのパフォーマンスやスケーラビリティが低下する可能性があります。これは、ネットワークの前提条件で考慮されていない側面に関連する直接的なリスクであるため、必ず含める必要があります。
オプションB：顧客がデータセンターの電力、冷却、物理的なラックスペースを十分に確保できない可能性がある。これは、この文脈における必須リスクとしては不適切である。前提条件には、「データセンターは必要なホストに対して十分な電力、冷却、ラックスペースを提供する」と明示的に記載されている。これが真実でない可能性はあるものの、前提条件の妥当性を疑問視することで、リスクは既に暗黙のうちにカバーされている。具体的な証拠（例えば、検証されていないデータセンターの仕様）が疑念を示唆しない限り、このリスクを含めることは冗長である。そのような証拠は提供されていない。その他のリスク（A、C）は、より直接的で明確である。
オプション C: 顧客が設計に必要な物理コア数をカバーするライセンスを保有していない可能性がある。これは正しいです。前提条件では、「顧客は新しいソリューションの規模に見合った十分なライセンスを提供する」とされています。VCF 5.2 では、ライセンス (vSphere、vSAN、NSX など) はコアベースであり、物理コア数 (ホストの仕様や規模などによる) を誤って判断すると、ライセンスが不足する可能性があります。このリスクは前提条件の正確性を直接的に損なうものであり、顧客のライセンスが設計のコア数と一致しない場合、展開が遅延したり、予期せぬコストが発生したりする可能性があります。これは文書化すべき重要なリスクです。

オプションD :ソリューション展開前に、顧客関係者の過半数から前提条件の承認が得られない可能性がある。これは誤りです。関係者の承認は重要ですが、これはプロセス関連のリスクであり、前提条件の内容に関連する技術的または運用上のリスクではありません。VMwareの設計手法は、合意形成などの手続き上の不確実性ではなく、ソリューションへの影響（パフォーマンス、容量など）にリスクを集中させています。このリスクは曖昧すぎ、前提条件の直接的な影響の範囲外です。
結論：
建築家が考慮に入れなければならない2つのリスクは以下のとおりです。
A :ネットワーク帯域幅が不足しています（遅延に関する想定ではカバーされていません）。
C：物理ハードウェアのライセンスが不十分（ライセンスに関する前提条件に直接関連）。
これらはVCF 5.2の設計原則に沿ったものであり、ネットワークのパフォーマンスやライセンスに関する潜在的なギャップが検証または軽減のために特定されることを保証します。
参照資料 :VMware Cloud Foundation 5.2 計画および準備ガイド（セクション :リスクの特定）、VMware Cloud Foundation 5.2 アーキテクチャおよび導入ガイド（セクション :ネットワークおよびライセンスに関する考慮事項）

質問: **91**
VMware Cloud Foundationにおいて、ストレージリソースの最適化に役立つVMwareツールはどれですか？
A. VMware vRealize Automation
B. VMware NSX
C. VMware vSAN
D. VMware vSphere
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vSANは、VMware Cloud Foundationにおけるストレージリソースの最適化に不可欠です。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu　**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **92**
アーキテクトは、顧客のステークホルダーや分野専門家から、新しいVMware Cloud Foundation（VCF）ソリューションに関するビジネス要件を収集している。
アーキテクトは、ビジネス要件への潜在的な影響を判断するために、顧客とどの2つの要素について話し合うべきでしょうか？（2つ選択してください。）

A. サービスレベル契約（SLA）
B. 製品バージョン
C. 組織構造
D. 平均仮想マシンサイズ
E. ストレージ容量
正解: **A,C** (コメントを発表する)
VMwareのVCF設計および計画手法（VMware Cloud Foundation 9.0アーキテクチャおよび設計ガイドに記載）では、ビジネス要件を収集する際、アーキテクトはまず、可用性、管理性、およびコンプライアンスの目標を定義するビジネスレベルの入力を分析する必要があると規定しています。このドキュメントでは、サービスレベル契約（SLA）と組織構造が、ソリューションの信頼性、運用責任、およびリスク許容範囲を定義するため、設計上の意思決定に大きく影響する要因であると指摘しています。
SLAは、必要な稼働時間、RPO/RTO目標、および復旧ポリシーを決定し、ストレッチドクラスタ、バックアップ構成、リソース冗長性などの設計要素に直接影響を与えます。同様に、組織構造は運用モデルに影響を与え、管理ドメイン、役割、およびテナントの分離方法を決定します。これにより、VCF Automation内でシングルテナント方式を採用するかマルチテナント方式を採用するか、また管理ドメインをどのように分離するかに影響します。
製品バージョン、VMサイズ、ストレージ容量などのその他のオプションは、実装およびスケーリングの段階で重要であり、ビジネス要件の段階では重要ではありません。VMwareは、VCFデザインライブラリにおいて、ビジネス要件（目標SLA、ガバナンス）と技術要件（容量 構成）を明確に区別しています。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
* VMware Cloud Foundation 9.0 デザインガイド - ビジネス要件収集フレームワーク (VCF-DES-PLN-BREQ-001)。
* VMware Cloud Foundation 9.0 アーキテクチャの概要 - SLA と組織モデルが設計上の決定に与える影響。
* VMware Cloud Foundation 9.0.1 デザインライブラリ - ビジネス要件と設計要素のマッピング。

質問: **93**
あるアーキテクトがVMware Cloud Foundation（VCF）のアーキテクチャ設計に取り組んでおり、以下の要件を特定しました。
- 組織は、サードパーティの仮想アプライアンスを使用しています。
オーバーレイネットワークはサポートしていません。
- 仮想アプライアンスは、
外部物理ファイアウォール。
- 仮想アプライアンスには、以下のワークロードへのアクセスも必要です。
現在はNSXが提供するオーバーレイセグメント上でホストされています。
これらの要件を満たすために、建築家はどのような設計上の決定を下すべきでしょうか？

A. 仮想アプライアンスとすべてのワークロードをVLANで保護されたセグメントに配置します。
B. 仮想アプライアンスをVLANでバックアップされたセグメントに接続し、オーバーレイセグメントへのアクセスを許可するようにNSXブリッジングを構成します。
C. サードパーティベンダーに、NSX Overlayセグメント用の仮想アプライアンスの認証を依頼します。
D. 仮想アプライアンスをオーバーレイバックセグメントに接続し、ファイアウォールへの静的ルートを使用します。
正解: **B** (コメントを発表する)
仮想アプライアンスをVLANで保護されたセグメントに接続し、NSXブリッジングを構成することで、外部の物理ファイアウォールとオーバーレイで保護されたワークロードの両方との通信が可能になり、アプライアンスに変更を加えることなく要件を満たすことができます。

質問: **94**
ある金融サービス会社が、コアバンキングアプリケーション向けにVMware Cloud Foundation（VCF）ベースのソリューションを導入しようとしている。設計担当者は、パフォーマンスSLAを維持しながら、ピーク時のトランザクション負荷にも対応できる設計であることを確認する必要がある。
設計検証戦略には、どの2つのアプローチを含めるべきでしょうか？（2つ選択してください。）
A. マスターリカバリプランのライブリカバリテストを実施し、リカバリ時間目標 (RTO) が定義された SLA の範囲内であることを確認します。
B. 代表的なワークロードを使用してストレステストを実施し、極端な負荷条件下でのシステム動作を評価します。
C. ステージング環境でピーク時のトランザクション負荷をシミュレートし、リソースのスケーラビリティとvSANのパフォーマンスを検証します。
D. まず本番環境にソリューションを展開し、エンドユーザーからのライブパフォーマンスのフィードバックに基づいて最適化します。
E. 選択したハードウェア用に提供されたベンダー提供のパフォーマンスベンチマークを参考にし、ライブリカバリ構成を手動で検証します。
正解: (正解を表示します)
VMware Cloud Foundation 9.0.2 設計および検証フレームワークによれば、パフォーマンス検証では、インフラストラクチャが定義された SLA を満たしながらピーク時のワークロード負荷に耐えられることを確認する必要があります。推奨される重要な検証手法は次の 2 つです。
* ストレステスト - 極端な負荷条件下でのシステムの安定性と応答を評価し、インフラストラクチャが平均的な運用を超える一時的なピークに対応できることを確認するために使用されます。

* ステージング環境における負荷シミュレーション - 本番環境のワークロードとトランザクションパターンをエミュレートして、スケーラビリティ、vSANのスループット、およびリソースの弾力性を検証するために使用されます。
ドキュメントでは、「本番環境への移行前に、管理された環境で代表的なワークロードを使用してストレステストとスケーラビリティテストを実施する必要がある」と強調しており、これにより予測可能なシステム動作とSLA目標への準拠が保証されます。
リカバリテスト（A）やベンダーベンチマーク（E）などの他のオプションは、災害復旧や参照目的で使用されるものであり、パフォーマンス検証を目的としたものではありません。検証を行わずに直接本番環境にデプロイすること（D）は、VCF設計のベストプラクティスに反します。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
* VMware Cloud Foundation 9.0.2 設計および検証ガイド - 「パフォーマンスとスケーラビリティの検証方法」
* VMware Cloud Foundation 9.0 アーキテクチャ概要 - 「ワークロード検証およびストレステストフレームワーク」

質問: **95**
Broadcomのハードウェアは、VMware vRealize Automation（vRA）のパフォーマンスをどのように向上させるのでしょうか？
A. 自動化ワークフローのスケーラビリティ
B. データ保護
C. 高速ストレージ
D. ネットワークトラフィックの最適化
正解: **(正解を表示します)**
Broadcomのハードウェアは、ストレージ速度、ネットワークトラフィックの最適化、拡張性、およびデータ保護を向上させることで、vRealize Automationのパフォーマンスを強化します。

質問: **96**
VMware Cloud Foundationでワークフローを自動化するために不可欠なツールは次のうちどれですか？
A. VMware vRealize Orchestrator
B. VMware vSphere
C. VMware vRealize Automation
D. VMware vRealize Operations
正解: **(正解を表示します)**
VMware vRealize OrchestratorとAutomationは、VMware Cloud Foundationにおけるワークフローの自動化に不可欠です。

質問: **97**
VMware vRealize Automationは、VMware Cloud Foundation環境においてどのようなことを自動化しますか？
A. コスト報告を自動化します。
B. リソースのプロビジョニングとアプリケーションのライフサイクル管理を自動化します。
C. ストレージ管理を自動化します。
D. ネットワーク構成を自動化します。
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vRealize Automationは、VMware Cloud Foundationにおけるアプリケーションとリソースのプロビジョニングおよびライフサイクル管理を効率化します。

質問: **98**
VMware Cloud Foundationにおけるデータ可用性と回復力の向上に不可欠なBroadcom製品はどれですか？
A. Broadcom NVMe SSD
B. Broadcomファイバーチャネル HBA
C. Broadcom RAIDコントローラ
D. ブロードコム製イーサネットアダプタ
正解: **(**正解を表示します**)**
BroadcomのRAIDコントローラーとファイバーチャネルHBAは、VMware Cloud Foundationにおけるデータの可用性と耐障害性を向上させます。

質問: **99**
要件収集ワークショップにおいて、顧客から複数のビジネス要件と技術要件が収集されました。技術要件に分類される要件はどれですか？
A. サービスリクエストのシステム処理時間を25%削減します。
B. システムは5,000人の同時接続ユーザーをサポートする必要があります。
C. 顧客満足度を15%向上させる。
D. 新たな地理的地域を含めて市場範囲を拡大する。
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) アーキテクチャでは、要件は重点分野に基づいてビジネス要件と技術要件に分類されます。技術要件は、測定可能なシステム機能または制約を規定し、コンピューティング、ストレージ、ネットワークなどのインフラストラクチャコンポーネントの設計上の決定に直接影響を与えます。一方、ビジネス要件は、IT がサポートする組織の目標または成果に焦点を当てます。オプション B「システムは 5,000 人の同時ユーザーをサポートする必要があります」は、特定のシステム容量メトリック (同時ユーザー数) を定義するため、技術要件です。これは、ワークロード ドメインのサイジングや NSX 構成など、VCF 設計におけるスケーラビリティとリソース割り当てに直接影響を与えます。

質問: **100**
あるアーキテクトがVMware Cloud Foundation（VCF）インスタンスの設計を行っています。以下の要件と制約事項が文書化されています。
* 管理ドメインクラスタは、プライマリストレージとしてvSAN stretchedを利用します。
* 会社の規定では、コンピューティングおよびストレージの容量使用率は常に90%を超えてはならないと定められています。
要件を満たすソリューションを設計する際に、建築家はどの3つの記述を考慮すべきでしょうか？
（3つ選択してください。）
A. 均質なクラスタ構成を使用します。
B. クラスターのサイズを調整し、最大コンピューティングピーク使用率が45%未満になるように監視します。
C. 異種クラスタ構成を使用する。
D. ストレージ利用率が最大40%になるようにクラスターのサイズを調整し、監視します。
E. クラスターのサイズを調整し、最大コンピューティングピーク使用率が 90% 未満になるように監視します。
F. ストレージ利用率が最大90%になるようにクラスターのサイズを調整し、監視します。
正解: **A,B,D (**コメントを発表する**)**
VCF 9.0.1設計ガイドでは、vSANストレッチドクラスタのサイジングに関するベストプラクティスが提供されており、フェイルオーバー条件に対応するための容量計画が重視されています。ガイドには次のように記載されています。
「拡張vSANクラスタのサイジングを行う際は、サイト障害が発生した場合、障害が発生したサイトのすべてのリソースが、稼働中のサイトでサポートされる必要があることを考慮してください。そのため、コンピューティングとストレージの利用率は、サイトごとに50%を超えてはなりません。」これは、サイトごとの最大目標利用率がコンピューティングで約45%、ストレージで約40%であることを意味し、両サイトを合わせた全体の容量ポリシーである90%への準拠を保証します。
均質なクラスタ構成（A）は、フェイルオーバー時の一貫したパフォーマンスと予測可能な復旧を保証します。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
* VMware Cloud Foundation 9.0.1 設計ガイド - 「vSAN ストレッチドクラスタの容量計画とサイジング」（874〜885ページ）
* VMware vSAN の設計およびサイジングに関するリファレンス - 「フェイルオーバー シナリオにおけるクラスタ利用計画」

質問: **101**
どのBroadcom製ハードウェアソリューションが、VMware Cloud Foundationのパフォーマンスを最適化できるのでしょうか？

A. Broadcom RAIDストレージコントローラ
B. ブロードコムNVMeストレージソリューション
C. Broadcom製イーサネットネットワークアダプタ
D. Broadcom製GPU
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcomのイーサネットアダプタ、NVMeストレージ、RAIDコントローラなどのハードウェアソリューションは、VMware Cloud Foundationのパフォーマンス最適化に不可欠です。

質問: **102**
VMwareストレージのパフォーマンスを最適化するために使用できるBroadcomソリューションはどれですか？
A. Broadcom NVMe SSD
B. Broadcomファイバーチャネル HBA
C. Broadcom RAIDコントローラ
D. Broadcom SATA HDD
正解: **(**正解を表示します**)**
RAIDコントローラー、NVMe SSD、およびファイバーチャネルHBAは、VMwareにおけるストレージパフォーマンスを大幅に向上させます。

質問: **103**
アーキテクトは、顧客向けにVMware Cloud Foundation（VCF）ベースのソリューションを設計する責任を負っています。ディスカバリーワークショップにおいて、顧客から以下の要件が提示されました。
- ビジネス上重要と指定されたすべてのアプリケーション/ワークロードには
復旧目標時点（RPO）は1営業時間。
- VCFソリューションのインフラストラクチャコンポーネントは、
復旧目標時間（RTO）は4営業時間です。
提示された状況において、RTOは何を決定するのでしょうか？
A. アプリケーション/サービスが使用可能な状態に復旧するまでに許容される最大時間
B. 許容できる最大データ損失量
C. アプリケーション/サービスが使用可能な状態に復旧するまでに許容される最小時間
D. 許容できる最小データ損失量
正解: **A (**コメントを発表する**)**
RTO（復旧目標時間は、システムやサービスが障害発生後にどれだけ迅速に復旧する必要があるかを定義します。このシナリオでは、インフラストラクチャコンポーネントは4時間以内に完全に機能する状態に戻る必要があります。これは、データ損失許容度を測定するRPOとは対照的です。RTOはダウンタイム許容度に重点を置いています。VMware Cloud FoundationのBCDR（事業継続および災害復旧）に関するドキュメントでは、可用性計画におけるこれらのメトリックが明確に定義されています。

質問: **104**
発見：複数の事業部門（一部は買収によるもの）があり、それぞれが独立したActive Directoryインスタンスを使用している。各部門は独立して運営されており、専用の開発環境が必要となる。
要件：VCF Automation を通じてセルフサービスプロビジョニングを提供すること。
設計上の決定事項として、どの2つを選択すべきでしょうか？（2つ選択してください。）
A. すべてのテナントは、認証に企業のADインスタンスを使用するように構成されます。
B. すべてのテナントは、認証に専用の AD インスタンスを使用するように構成されます。
C. 各事業部門ごとにVCF Automationテナントが作成されます。
D. 各事業部門ごとにVCFオートメーションプロジェクトが作成されます。
E. すべてのプロジェクトは、認証に専用のADインスタンスを使用するように構成されます。
正解: **(**正解を表示します**)**
VCF Automation（Aria Automation）は、個別のAD統合によるマルチテナントをサポートしています。
* B: 各テナントは、事業部門間の独立性を維持するために、独自の AD インスタンスを使用する必要があります。
* C: 事業部門ごとにテナントを作成し、分離と専用リソースの割り当てを確保します。
D（事業部門ごとのプロジェクト数）はシングルテナントのシナリオでは機能するかもしれませんが、マルチADの分離には対応していません。
A/Eforceを企業ADまたは単一プロジェクトに統合することは、独立性要件に違反する。
参考資料：VMware Cloud Foundation 9.0 - VCFオートメーションによるマルチテナンシーとID統合。

質問: **105**
アーキテクトは、vSANを利用した既存のvSphereのみの環境をVMware Cloud Foundation（VCF）にアップグレードするための計画を策定する任務を負っている。
今回のアップグレードに必要な新しいインフラ構成要素はどれですか？（3つ選択してください。）
A. NSX
B. SDDCマネージャー
C. VCFアイデンティティブローカー
D. VCF操作
E. vSphere Supervisor
正解: **A,B,E (**コメントを発表する**)**
avSphere + vSAN環境を完全なVMware Cloud Foundation環境にアップグレードするには、統合ソフトウェア定義データセンター（SDDC）を構成するコンポーネントを導入する必要があります。

* A. NSX - VCFに必要なネットワーク仮想化、オーバーレイセグメント、分散ファイアウォール、ルーティングを提供します。
* B. SDDC Manager - VCF の中核となる管理およびライフサイクル自動化ツールであり、起動、パッチ適用、およびアップグレードを担当します。
* E. vSphere Supervisor - VMware Tanzu Kubernetes Grid (TKG) および VCF 環境での最新のアプリケーション展開を有効にするために必要です。
なぜ他の選択肢はダメなのか？
* C. VCF アイデンティティ ブローカー - フェデレーション認証を提供しますが、最初のアップグレードには必須ではありません。
本人確認要件によっては、任意となります。
* D. VCF Operations - これはVMware Aria Operations（監視分析用）です。vSphere/vSANからVCFへのアップグレードには強く推奨されますが、必須ではありません。
参考資料 :VMware Cloud Foundation 9.0 アーキテクチャ ガイド - vSphere + vSAN からの立ち上げとアップグレードに必要なコンポーネント、VMware Cloud Foundation 計画および準備ガイド

質問: **106**
どの記述が機能要件（ビジネス要件）に分類されますか？
A. ソリューションは、ユーザーがリクエストの進捗状況を確認および追跡できる機能を提供する必要があります。
B. セルフサービスカタログは、12か月間の期間で測定されたサービスレベル目標（SLO）75%のリクエスト成功率を満たす必要があります。
C. アプリケーションは、単一のデータセンターの障害に耐えられるように設計する必要があります。
D. ソリューションに対して、80%以上の合格率で、第三者による侵入テストを毎年実施する必要があります。
正解: **A** (コメントを発表する)
VMware Cloud Foundation 9.0.1 設計およびアーキテクチャフレームワークでは、機能（ビジネス）要件とは、システムが実行しなければならないこと、つまり、ビジネス目標を達成するためにシステムが提供しなければならない具体的な動作、機能、またはサービスを記述したものです。
「ソリューションは、ユーザーがリクエストの進捗状況を確認および追跡できる機能を提供する必要がある」という記述は、ビジネス主導の機能、つまりサービスカタログにおけるリクエストの可視性の必要性を定義しており、ユーザーエクスペリエンスとサービス運用に直接影響を与えます。
対照的に：
オプションBは、非機能要件（パフォーマンス要件）として分類されるサービスレベル目標（SLO）を定義します。
オプションCは、可用性と回復力に関するものであり、非機能的な信頼性要件です。

オプションDはセキュリティおよびコンプライアンス要件であり、機能要件ではありません。
したがって、オプションAだけが機能的な能力、つまりユーザーがサービスリクエストのライフサイクルを監視できるシステム機能について説明しています。
参考資料（VMware Cloud Foundation のドキュメント）：
VMware Cloud Foundation 9.0.1 設計ガイド - 「機能要件と非機能要件の分類」。VMware Cloud Foundation 9.0.2 アーキテクチャガイド - 「ビジネス機能要件とサービス機能のマッピング」。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu 「**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **107**
仮想化環境におけるBroadcom製ハードウェアの監視および管理に不可欠なVMwareソリューションはどれですか？
A. vSAN
B. vCenter Server
C. vSphere Client
D. Broadcom RAIDコントローラ管理ツール
正解: **(**正解を表示します**)**
vCenter Server、vSphere Client、およびBroadcom RAIDコントローラー管理ツールは、VMware環境でBroadcomハードウェアを監視および管理するために不可欠です。

質問: **108**
vSphereのVMFSデータストアで使用されるデフォルトのファイルシステムは何ですか？
A. ZFS
B. NTFS
C. EXT4
D. VMFS 6
正解: **D (**コメントを発表する**)**
VMFS 6は、vSphere 6.x以降のデフォルトのデータストアファイルシステムです。

質問: **109**

ある企業が、拡大するインフラ要件に対応するため、新しいVMware Cloud Foundation（VCF）環境を導入している。
- 同社は、時間をかけて環境を拡張していくことを計画している。
新しいアプリケーションや部門が増えるにつれてワークロードドメインも増えていきますオンボーディング完了。
- 同社は、アーキテクチャが高度に拡張可能であることを要求している。
また、柔軟性があり、現在および将来の需要の両方に対応できる必要があります。さらに、新しいワークロード領域を追加する際には、シームレスな移行が求められます。
建築家は、提示された拡張性要件を満たし、将来の成長を促進するために、どのような設計上の決定を下すべきでしょうか？
A. すべての部門で単一のワークロードドメインを使用し、需要の増加に応じて vSphere クラスタのサイズを増やします。
B. 各部門ごとに複数のワークロードドメインを使用し、各ワークロードドメインが独立してスケーリングされるようにします。
C. 単一のワークロードドメインを使用し、ストレージとネットワークのスケーリングによって将来の成長に対応します。
D. 各部門ごとに複数のワークロードドメインを使用しますが、複雑さを軽減するためにそれらを単一のvSphereクラスタに統合します。
正解: **B** (コメントを発表する)
VMware Cloud Foundationは、ワークロードドメイン（WLD）を使用してスケーリングします。各WLDは、独自のvCenter Server、NSX Manager、およびSDDC Managerを介したライフサイクル独立性を提供します。部門ごとに複数のWLDを使用することで、このアーキテクチャは独立したスケーリング、ポリシーの分離、およびライフサイクル管理をサポートします。
オプションAまたはCでは、すべてのテナントが単一のWLDを共有するため、柔軟性が制限され、ライフサイクル上の制約や「騒音問題」が発生します。
オプションDはベストプラクティスに反しています。分離とライフサイクルの柔軟性が求められる場合、複数の部門がWLD内の単一のクラスタを共有すべきではありません。この設計により、部門やアプリケーションの成長に合わせて、新しいワークロードドメインをシームレスに追加できます。

質問: **110**
どの記述が機能要件（ビジネス要件）に分類されますか？
A. ソリューションは、ユーザーがリクエストの進捗状況を確認および追跡できる機能を提供する必要があります。
B. アプリケーションは、単一のデータセンターの障害に耐えられるように設計する必要があります。
C. ソリューションに対して、80%以上の合格率で、第三者による侵入テストを毎年実施する必要があります。

D. セルフサービスカタログは、12か月間の期間で測定されたサービスレベル目標（SLO）75%のリクエスト成功率を満たす必要があります。
正解: **(**正解を表示します**)**
機能要件（ビジネス要件）とは、ユーザーが望む、あるいはビジネスの観点からシステムが果たすべき役割を記述したものです。ユーザーが自身のリクエストの進捗状況を確認・追跡できるようにすることは、明確な機能要件の一例です。

質問: **111**
アーキテクトは、VMware Cloud Foundation（VCF）ベースの新しいプライベートクラウドソリューションの設計を担当します。主要な顧客関係者との要件収集ワークショップにおいて、以下の情報が収集されました。
* ソリューションは、プラットフォーム上で実行されるすべてのワークロードが、決済カード業界データセキュリティ基準（PCI-DSS）に準拠していることを保証する必要があります。
設計文書を作成する際、提示された要件を分類するために、どの設計品質基準を用いるべきでしょうか？
A. 管理性
B. パフォーマンス
C. 回復可能性
D. セキュリティ
正解: **(**正解を表示します**)**
この要件は、サイバーセキュリティの基本原則であるデータ保護、安全なアクセス、暗号化、監査、および規制遵守を保証します。これらの特性は、機密性、完全性、およびコンプライアンスの保護に関わるセキュリティ設計品質に完全に該当します。PCI-DSS準拠とは、VMwareフレームワークにおけるセキュリティ設計品質のすべての側面である、セキュリティポリシー、暗号化、アクセス制御、監視、および監査を実装することです。
参考資料 :VMware Cloud Foundation アーキテクチャおよび設計ガイド - セキュリティ設計品質原則

質問: **112**
以下のうち、ソフトウェア定義データセンター（SDDC）の利点を説明しているのはどれですか？（該当するものをすべて選択してください。）
A. ハードウェア非依存
B. 動的なリソース割り当て
C. エネルギー効率の向上
D. 集中管理
正解: **(**正解を表示します**)**
SDDCは管理を一元化し、ハードウェアを抽象化し、リソースを最適化します。

質問: **113**

VMwareのネットワークトラフィックを保護するために必要なBroadcomソリューションはどれですか？
A. vSAN
B. ブロードコム25GbEイーサネットアダプター
C. vSphere Distributed Switch (VDS)
D. VMware NSX
正解: **(**正解を表示します**)**
Broadcom 25GbEイーサネットアダプタとvSphere Distributed Switch（VDS）は、VMware環境におけるネットワークトラフィックのセキュリティ確保に不可欠です。

質問: **114**
VMware vSphereの構成要素は次のうちどれですか？（該当するものをすべて選択してください。）
A. vCenter Server
B. VMFS
C. ESXi
D. NSX-T
正解: **A,B,C (**コメントを発表する**)**
vSphereの主要コンポーネントには、ESXi、vCenter、およびVMFSが含まれます。

質問: **115**
Broadcomのどのハードウェアソリューションが、VMware環境向けに高度なネットワーク機能を提供しますか？
A. Broadcom FastLinQアダプタ
B. ブロードコムNetXtremeイーサネットアダプタ
C. ブロードコム100Gイーサネットアダプタ
D. ブロードコム製ファイバーチャネルホストバスアダプタ（HBA）
正解: **(**正解を表示します**)**
NetXtreme Ethernet、100G Ethernetアダプタ、FastLinQアダプタ、およびファイバーチャネルHBAは、VMware環境向けに高度なネットワーク機能を提供します。

質問: **116**
vSphereにおけるNICチーミングのデフォルトの負荷分散ポリシーは何ですか？
A. IPハッシュに基づくルーティング
B. 発信元仮想ポートに基づくルーティング
C. 送信元MACハッシュに基づくルーティング
D. 明示的なフェイルオーバー順序を使用する
正解: **B (**コメントを発表する**)**
デフォルトの負荷分散ポリシーは、発信元の仮想ポートに基づいています。

質問: **117**
Broadcom製ハードウェアを使用する場合、VMware仮想マシンのパフォーマンスを最適化するにはどのような方法がありますか？
A. VMリソースの過剰割り当て
B. SSDなどの高性能ストレージを使用する
C. より多くのCPUリソースを割り当てる
D. ハードウェアアクセラレーション機能を有効にする
正解: **(**正解を表示します**)**
CPUの割り当て、SSDの使用、ハードウェアアクセラレーションの有効化は、VMのパフォーマンスを最適化する上で重要です。

質問: **118**
VMware Cloud FoundationとBroadcom製ハードウェアを統合する際のネットワーク設計における重要な考慮事項は何ですか？
A. vCenter Server
B. vSphere DRS
C. vSAN
D. 25GbEイーサネットアダプター
正解: **D (**コメントを発表する**)**
25GbEイーサネットアダプタは、VMware Cloud Foundation環境におけるネットワーク設計の重要な要素です。

質問: **119**
VMware Cloud Foundation (VCF) の論理設計の一環として、アーキテクトは以下の要件を文書化した。
- ソリューションには、高いセキュリティ強化レベルが含まれている必要があります
軍事基準への準拠。
ワークロード領域において、このセキュリティ要件を満たす物理設計上の決定事項はどれか？ 2つ挙げていただけると良い。）
2つ選択してください。）
A. vSANストレージポリシーは、許容する二次障害数 = 1 に設定されます。
B. VCF Operationsは、セキュリティポリシーに従ってvCenter ServerのSSL証明書を更新するように構成されます。
C. NTPは、内部NTPサーバー192.168.12.1と192.168.24.1に設定されます。
D. VIワークロードドメインvCenter Serverの証明書は、RootCA.Military.Domain.comによって発行されます。
E. VIワークロードドメインクラスタ内のすべてのESXiホストで、詳細設定UserVars.SuppressShellWarningが0に設定されます。
正解: **(**正解を表示します**)**

質問: **120**
Broadcom製ハードウェアを使用した拡張性の高いストレージソリューションを設計する際に、VMwareのどの機能を優先すべきでしょうか？
A. vSphere DRS
B. vSphere HA
C. vCenter Server
D. vSAN
正解: **(**正解を表示します**)**
vSANは、Broadcom製ハードウェアを搭載したVMware環境で、拡張性の高いストレージソリューションを設計するのに最適な選択肢です。

有効的な**2V0-13.25**問題集はJPNTest.com提供され、**2V0-13.25**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**2V0-13.25**試験問題集を提供します。JPNTest.com 2V0-13.25試験問題集はもう更新されました。ここで**2V0-13.25**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/2V0-13.25-mondaishu 「**130**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」